

EZStation 3.0

ユーザマニュアル

マニュアルのバージョン : V1.12

弊社の製品をお選びいただきありがとうございます。ご質問・ご要望については、ご遠慮なく販売店までご連絡ください。

免責事項



注意！

デフォルトパスワードは、最初のログイン用です。セキュリティのため、最初のログイン後に強力なパスワードを設定してください。強力なパスワードには、数字、大文字、小文字、特殊記号の 4 つのうち、少なくとも 3 つの要素で構成される 8 文字以上が含まれる必要があります。パスワードを安全に保ち、定期的に変更してください。

- 本書の内容は、予告なしに変更される場合があります。
- 本書の内容の完全性と正確性を検証するため最善の努力を払っていますが、本書の記述、情報、または推奨事項は、明示または黙示を問わず、正式な保証を構成するものではありません。本書の技術的誤謬や誤植について、当社は一切責任を負いません。
- 本書の図は参照専用です。
- 物理環境などの不確定要素により、実際の値と本書の参考値が食い違うことがあります。最終的な解釈は当社の一存に委ねられます。

凡例

凡例	説明
太文字	コマンド、キーワード、パラメータ、GUI 要素（ウィンドウ、タブ、ダイアログボックス、メニュー、ボタンなど）。
イタリックフォント	使用者が値を指定する変数。
>	一連のメニュー項目を分割します。例: Device Management > Add Device 。

目次

1 はじめに.....	1
2 システム要件.....	1
3 インストールと起動.....	2
4 デバイス管理.....	3
エンコードデバイス	3
エンコードデバイスの追加	3
エンコードデバイスの設定	5
グループ管理	6
デコードデバイス	7
クラウドデバイス	7
ネットワークキーボード	9
5 ライブビュー.....	12
ライブビュー	12
ライブビデオの再生	12
ビューによるライブビデオの再生	13
ライブビューコントロール.....	16
ライブビューツールバー	16
ライブビューウィンドウツールバー	16
ライブビューショートカットメニュー	17
PTZ コントロール.....	18
PTZ コントロールパネル	18
プリセット	20
プリセットパトロール	20
録画パトロール	22
魚眼コントロール	22
シーケンスディスプレイ	23
シーケンスリソース	23
シーケンスビュー	25
6 録画と再生.....	28
録画スケジュールの設定.....	28
毎日 24 時間録画スケジュールの設定	28
録画スケジュールのカスタマイズ	29
ビデオの手動録画	30
再生	30
デバイス録画の再生	30
ローカル録画と画像の再生	31

再生コントロール	32
スマート検索	34
録画のダウンロード	35
録画のダウンロード	35
ダウンロードタスクの管理	35
7 ビデオウォール	36
ビデオウォールを追加	37
ビデオウォールの操作	38
ビデオウォールでビデオを再生する	38
音声出力	39
シーケンスリソースの再生	40
その他のビデオウォールの操作	43
画面コントロール	45
シリアルポートとプロトコルの設定	45
設定した時間に自動的に画面をオンまたはオフにする	45
手動で画面をオンまたはオフにする	45
一定時間後に画面をオフにする	46
8 行動検索	46
9 顔認識	47
リアルタイム監視	47
顔ライブラリの管理	48
顔ライブラリの作成	48
顔データを追加	48
監視タスク	50
10 人数カウント	51
リアルタイム統計	51
レポート統計	52
11 E マップ	53
マップの設定	53
マップの操作	54
マップ上でホットスポットやホットゾーンを見つける	55
ホットスポットでライブビデオを表示する	55
アラームの処理	56
ホットゾーンの表示	57
12 音声	57
音声	57
双方向オーディオ	58
カメラとの双方向音声	58
NVR との双方向音声	58
ブロードキャスト	59

13 アラームの設定.....	60
アラーム起動型アクションの設定.....	60
アラーム録画の表示	62
直近のアラーム.....	62
履歴アラーム.....	65
14 操作ログ.....	66
15 クライアントの設定.....	67
16 ユーザ管理.....	69
17 付録.....	70
EZDDNS によるエンコーディングデバイスの追加.....	70
予備モニターの回復	71
マルチウィンドウディスプレイ.....	71

1 はじめに

EZStation 3.0 は、ビデオ管理ソフトウェアです。ライブビュー、再生、デバイス管理、録画スケジュール、アラーム設定、ビデオウォール、人数カウント、E マップなどのビデオ監視サービスを提供します。本ソフトウェアは、導入と操作が容易であり、スーパーマーケット、駐車場、住宅地などの中小規模のアプリケーションに適しています。詳細については、データシートをご覧ください。



ヒント！

- 本ソフトウェアには異なるバージョンがあり、互換性のあるオペレーティングシステムにインストールする必要があります。詳細については、データシートをご覧ください。
- 機能は、ソフトウェアバージョン、デバイスとバージョン、およびソフトウェアによるデバイスの管理方法（カメラとの直接接続、または NVR 接続カメラなど）を含むがこれらに限定されない要因によって異なる場合があります。
- 本書は、特定のソフトウェアバージョン用ではありません。本書に記載されている一部の機能は、特定のバージョンでのみ使用できます。
- 直接接続カメラ：ソフトウェアによって直接管理されるカメラ（NVR 接続カメラと異なる）。
- NVR 接続カメラ：NVR を経由でソフトウェアによって管理されるカメラ（直接接続されたカメラと異なる）。
- IPC：IPC、IP カメラ、およびカメラは、本書では同じものを指します。
- PC: ソフトウェアを実行するコンピュータ。本書ではクライアントとしても言及されています。

2 システム要件

ソフトウェアをホストする PC は、パフォーマンス要件を満たす必要があります。要件は、ソフトウェアの使用方法によって異なる場合があります。たとえば、複数のウィンドウで高解像度のライブビューを使用するには、より高いシステムパフォーマンスが必要です。

ソフトウェアバージョン	システム要件
64 ビット	OS: Microsoft Windows 7/8/10 (64 ビット) CPU: Intel Core i5 3.1GHz 以上 メモリ：4GB 以上
32 ビット	OS: Microsoft Windows 7/8/10 (32 ビットまたは 64 ビット) CPU: Intel Pentium IV 3.0GHZ 以上（4 コア、3.0GHz を推奨） メモリ：2GB 以上 注意：64 ビット Windows は、32 ビットソフトウェアをホストできません。

ソフトウェアバージョン	システム要件
Mac	OS: Mac OS 10.11 以降 CPU: Intel Core i5 3.1GHz 以上 メモリ : 4GB 以上



ヒント！

64 ビットの OS とソフトウェアが推奨されます。ライブビューと再生は RAM を消費しますが、32 ビットソフトウェアには比較的小さな RAM しか備わっていません。RAM が不足すると、ソフトウェアはライブまたは録画したビデオのチャンネルを再生できなくなり、RAM が不十分であることを示すメッセージが表示されます。

3 インストールと起動

1. .exe ファイルをダブルクリックし、ウィザードに従ってインストールを完了してください。
2. インストールが完了したら、ショートカットアイコンをダブルクリックしてソフトウェアを起動します。
3. デフォルトのユーザー名/パスワードでログインします (admin/123456)。






ヒント！

- デフォルトパスワードは、最初のログインのみを対象としています。セキュリティのため、最初のログイン後に強力なパスワードを設定してください([ユーザ管理](#)をご覧ください)。強力なパスワードには、数字、大文字、小文字、特殊記号の 4 つのうち、少なくとも 3 つの要素で構成される 8 文字以上が含まれる必要があります。パスワードを安全に保ち、定期的に変更してください。
- admin のパスワード (123456 またはその他) は、ソフトウェアのアップグレードまたは再インストール後も変更されません。

ログインすると、メインページが表示されます。メインページには、コントロールパネル、いくつかの機能ボタン、およびシステムメニューが含まれています。

- 左上隅の **Menu** をクリックしてシステムメニューを開きます。
- コントロールパネルには **Common** そして **Basic** 領域があります。アイコンをクリックすると、対応するモジュールにアクセスします。アイコンをドラッグすると、別のアイコンと位置を変更できます。
- 右上隅のボタンは、アカウントの切り替え、GUI のロック、またはユーザマニュアルを開くために使用されます。
- 左下隅に 3 つのボタンがあります。

アイコン	説明
	リアルタイムアラームの表示、アラーム音のオン/オフ、アラームトリガーのライブビデオの有効化/無効化。
	ダウンロードタスクの管理
	録画のダウンロード

4 デバイス管理

デバイスには、エンコードデバイス、デコードデバイス、クラウドデバイス、ネットワークキーボードが含まれます。このソフトウェアは、最大 64 のローカルデバイスと 64 のクラウドデバイス、最大 512 のローカルチャンネルと 512 のクラウドチャンネルをサポートします。

エンコードデバイス

エンコードデバイスの追加

エンコードデバイスには、IPC（本書では IP カメラ、カメラ、またはビデオチャンネルとも呼ばれます）、ネットワークビデオレコーダー（NVR）、ハイブリッド NVR が含まれます。

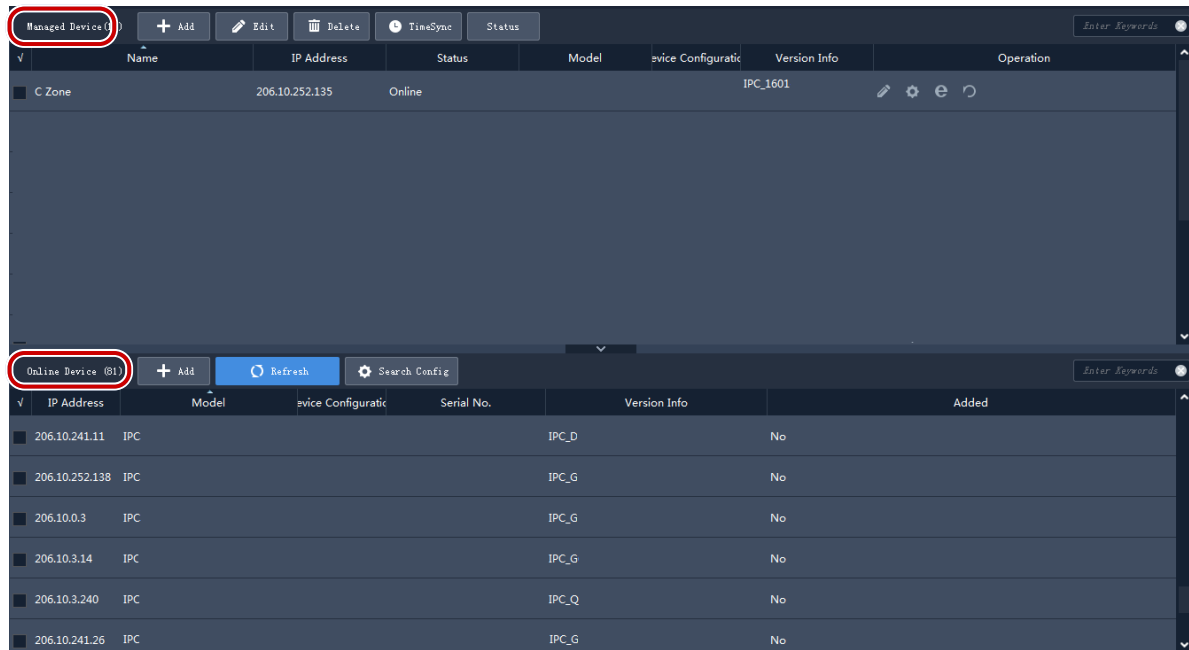


ヒント！


- 異なる管理ソフトウェアプログラムでデバイスを管理すると、予期しない問題が発生する場合があります。
- 常に管理者としてデバイスを追加してください（ユーザー名「admin」を入力してください）。

コントロールパネルの **Device Management** をクリックして次の手順を実行してください。

1. **Device > Encoding Device** をクリックします。このページは、2 つのリストを持つ 2 つの領域に分かれています。
 - **Online Device** リスト: ソフトウェアはオンラインデバイスを検索し、自動的に更新します。
注意：検出されたデバイスはまだ追加されていないため、手動で追加する必要があります（手順 2 をご覧ください）。
 - **Managed Device** リスト：ソフトウェアに追加されているデバイスをリストします。







2. **Online Device** リストからデバイスを選択して **Add** をクリックします。デバイスは異なる複数のグループに追加できます。


- ソフトウェアはデフォルトのユーザー名（admin/123456）を使用してデバイスを追加します。デバイスのパスワードが変更されていて 123456 でない場合、手順 3 でパスワードを変更する必要があります。
- **Online Device** リストでは、以下の操作が可能です：
 - **Refresh** をクリックするとリストを更新します。
 - **Search Config** をクリックすると検索するネットワークセグメントを指定できます。
 -  をクリックするとリストされたすべてのデバイスを選択/選択解除します。
 - デバイスを右クリックすると、Web インターフェイスにアクセスできます。

3. **Managed Device** リストで、追加されたデバイスの状態を確認し、以下を実行してください:

操作	方法
デバイスの追加	1) Add をクリックします。 2) モードを選択します。選択したモードに関係なく、デバイスのユーザー名（admin）とパスワードは常に必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ● IP/ドメイン: 既知の IP アドレスを持つデバイスを追加します。 ● IP セグメント: 連続した IP アドレスを持つ複数のデバイスを追加します。 ● EZDDNS: デバイスで DDNS を有効にし、事前にポートマッピングを完了しておく必要があります。詳しくは付録をご覧ください。 3) Add をクリックしてデフォルトグループに追加、または Add to Group をクリックして、指定されたグループに追加します。
デバイスの編集	デバイスを選択して Edit をクリックします。このボタンは、複数のデバイスを追加する際に同じユーザー名とパスワードを設定する場合に特に便利です。

操作	方法
デバイスの削除	デバイスを選択して Delete をクリックします。削除されたオンラインデバイスはまだ Online Device リストに残ります。
時間同期	TimeSync をクリックし、PCのシステム時間を選択したデバイスに同期します。
デバイスの状態を表示	Status をクリックし、デバイスのオンライン/オフライン状態、録画状態、ディスク状態を表示します。 手動で更新することも、自動的に更新する間隔を設定することもできます。
Operation カラムのボタンを使用してください。	<ul style="list-style-type: none">  : デバイス名、IP アドレス、ユーザー名/パスワードを編集します。デバイスの状態が Offline (incorrect username or password) の場合、このボタンをクリックして、パスワードを実際のパスワードに変更してください。ダブルクリックしてデバイスを編集することもできます。  : デバイスの画像、エンコード、OSD の設定を行います (エンコードデバイスの設定をご覧ください)。  : デバイスの Web インターフェイスにアクセスします。  : デバイスを再起動します。

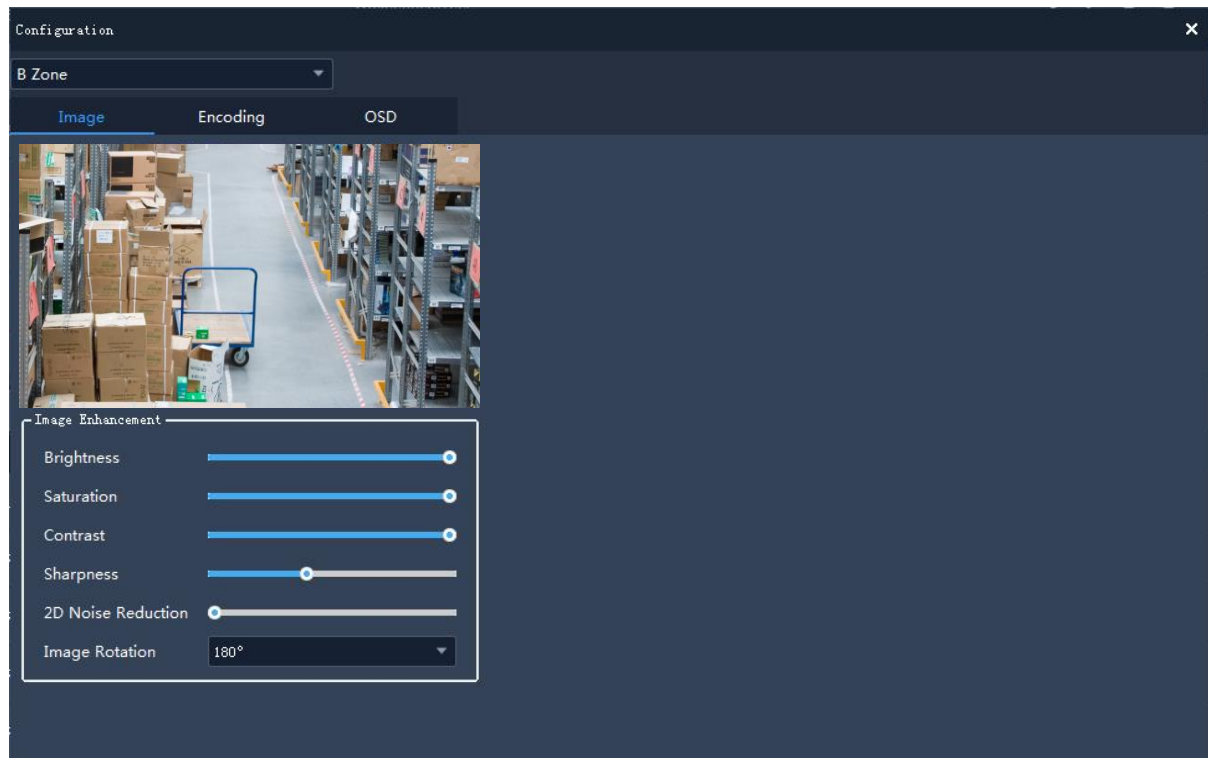
エンコードデバイスの設定

オンラインデバイスの場合、**Managed Device** リスト上で、 をクリックし、デバイスの Web インターフェイスを開かずに画像、エンコード、および OSD の設定を行うことができます。



ヒント！

- この機能はデバイスがサポートしている必要があり、デバイスのバージョンが低すぎる場合は使用できない場合があります。
- 表示される設定は、デバイスのバージョンとデバイスの管理方法によって異なる場合があります。
- 画像、エンコード、OSD パラメータの詳細な説明については、デバイスのユーザマニュアルをご覧ください。
- OSD 設定は Mac OS システムでは使用できません。



注意：

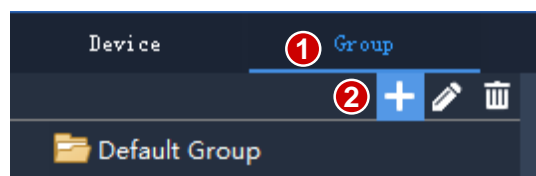
- 変更された画像と OSD 設定はすぐに有効になります。エンコード設定を有効にするには、まずエンコード設定保存する必要があります。
- NVR の場合、ドロップダウンリストからカメラを選択する必要があります。
- OSD を設定する際、画像をダブルクリックすると全画面で表示できます。青いボックス（領域 1、2...）はプレビューにのみ表示され、ライブビュー画像には表示されません。OSD をドラッグして再配置できます。

グループ管理

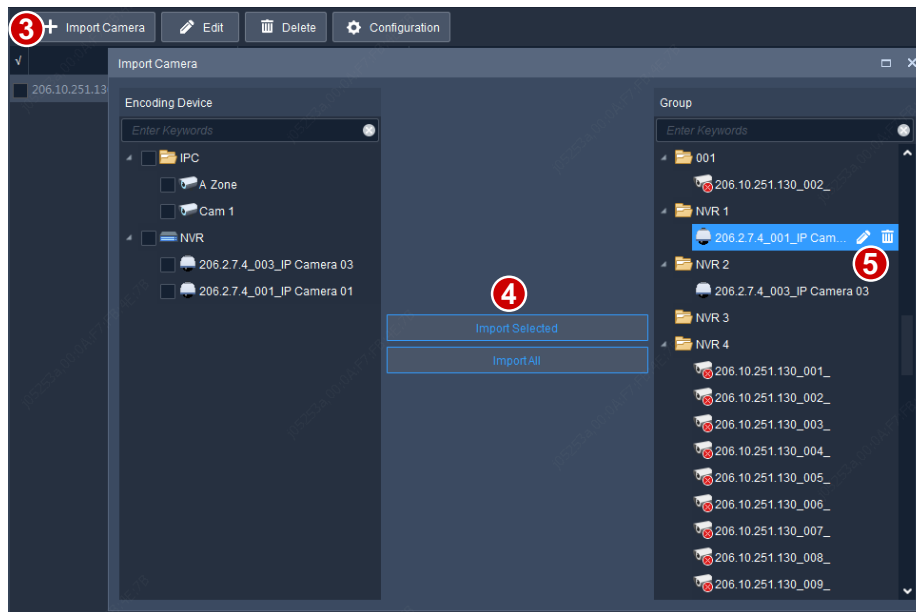
ソフトウェアがインストールされると、デフォルトグループが自動的に作成されます。グループを作成すると、異なるグループのカメラを管理できます。

NVR を追加すると、NVR と同じ名前のグループが作成されます。

1. グループを追加します。



2. グループにカメラをインポートします。



- カメラのインポート手順：右側のグループをクリックし、左側のカメラを選択して、**Import Selected** をクリックします。すべてのカメラをインポートするには、**Import All** をクリックします。
- グループからカメラを削除するには、カメラにマウスポインタを合わせて **Delete** をクリックします。
- グループ内のカメラの名前を変更するには、カメラにマウスポインタを合わせて **Edit** をクリックします。

デコードデバイス

ビデオウォール機能を使用する前に、デコードデバイスを追加する必要があります。手順は、エンコードデバイスを追加する場合と同様です。[エンコードデバイスの追加](#) をご覧ください。
注意：管理者としてデコードデバイスを追加します。

クラウドデバイス

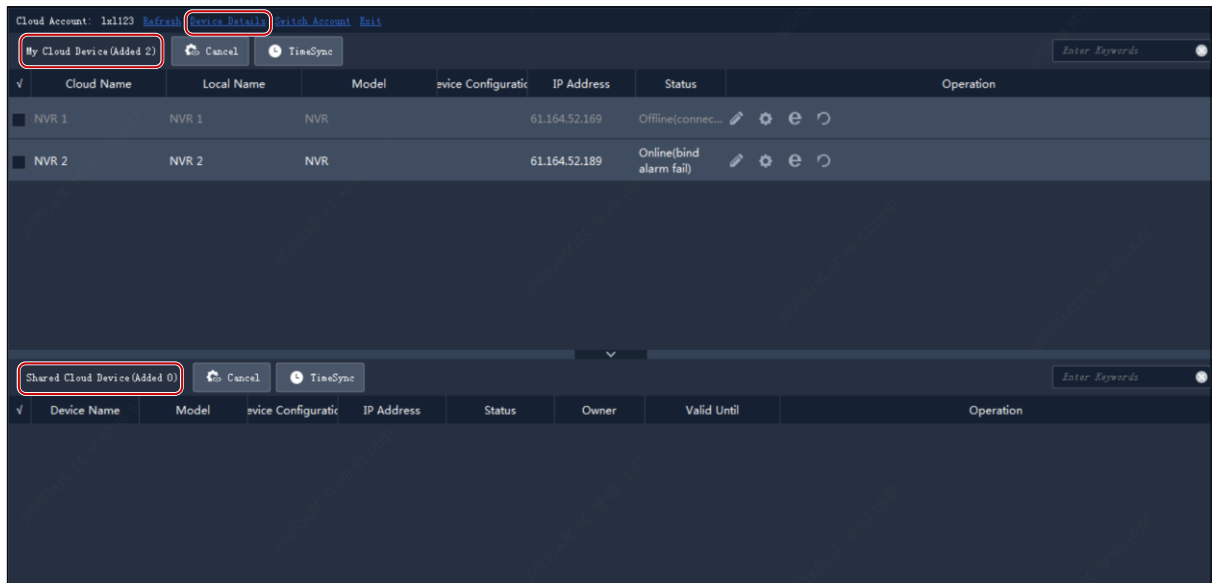
注意：

このソフトウェアは、最大 64 台のクラウドデバイスを同時に管理できます。これには、クラウドデバイスや他のクラウドアカウントから共有されるデバイスも含まれます。管理するデバイスの総数が制限を超えている場合は、**Device Details** をクリックし、**Add Manage** または **Cancel** をクリックしてクラウドデバイスを調整してください。

コントロールパネルの **Device Management** をクリックして次の手順を実行してください。

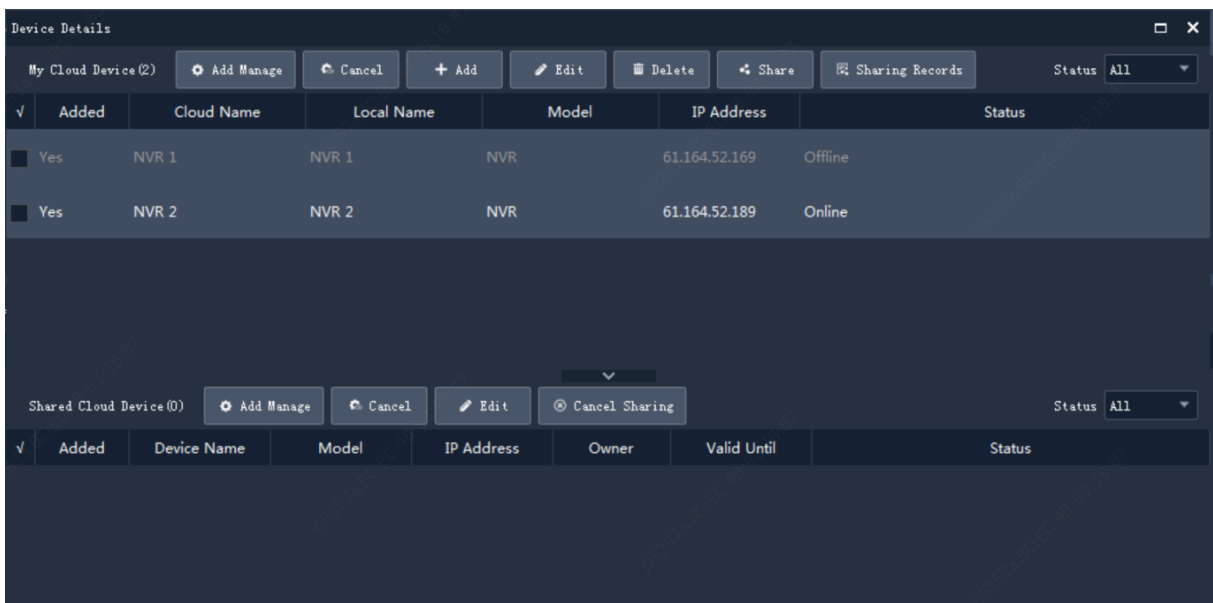
1. **Device > Cloud Device** をクリックします。
2. 既にクラウドアカウントをお持ちの場合は、手順 3 に進みます。お持ちでない場合は、**Register** をクリックしてサインアップしてください。

- クラウドアカウントのユーザー名とパスワードを入力し、**Login** をクリックします。クラウドデバイス（**My Cloud Device** の下）および他のクラウドアカウントから共有されているデバイス（**Shared Cloud Device** の下）を含むクラウドアカウントのデバイスがリストされます。



ヒント：

- Operation** の下のボタンを使用して、デバイス名の編集、画像、エンコードおよび OSD の設定、デバイスの Web インターフェイスの起動、デバイスの再起動を行うことができます。
- Cancel** をクリックすると、クラウドアカウントからデバイスを削除せずにデバイスの管理をキャンセルすることができます。
- TimeSync** をクリックすると、デバイスを PC のシステム時間と同期させます。
- Device Details** をクリックすると、クラウドデバイスの追加、編集、削除、共有または共有のキャンセル、管理または管理のキャンセルを行うことができます。



ヒント：

- **Add** をクリックしてクラウドアカウントにデバイスを追加します（デバイスの Web インターフェイスに表示される登録コードが必要です。詳細についてはデバイスのユーザマニュアルをご覧ください）；**Delete** をクリックするとクラウドアカウントからデバイスを削除します。
- **Add Manage** をクリックするとソフトウェアにデバイスを追加できます。**Cancel** をクリックするとクラウドアカウントからデバイスを削除せずに管理をキャンセルできます。
- デバイスをダブルクリックするか **Edit** をクリックするとデバイスの変更ができます。新しい名前をクラウドに同期するには、**Sync to Cloud** を選択してください。
- **Share** をクリックすると、デバイスを別のクラウドアカウントと共有できます。必要に応じて共有期間と権限を設定します。権限はデバイスで事前に設定されています。
- **Sharing Records** をクリックすると、共有履歴を表示したり、他のクラウドアカウントとの共有をキャンセルできます。
- **Cancel Sharing** をクリックすると、他のクラウドアカウントからの共有をキャンセルできます。

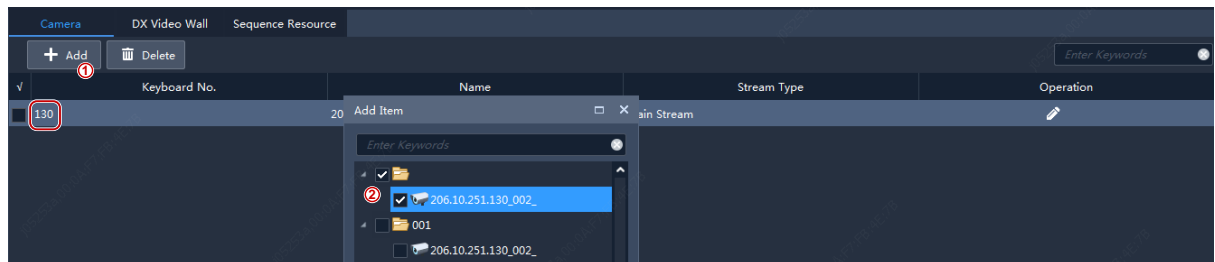
ネットワークキーボード

ネットワークキーボードを使用すると、ビデオウォールのライブビデオ、再生、PTZ カメラ、シーケンスリソースを制御できます。

次の手順では、ビデオウォールでライブビデオを再生する方法について説明します。開始する前に、キーボードのユーザマニュアルを参照して、キーボードを PC に接続してください。その上で、コントロールパネルの **Device Management** をクリックして次の手順を実行してください。

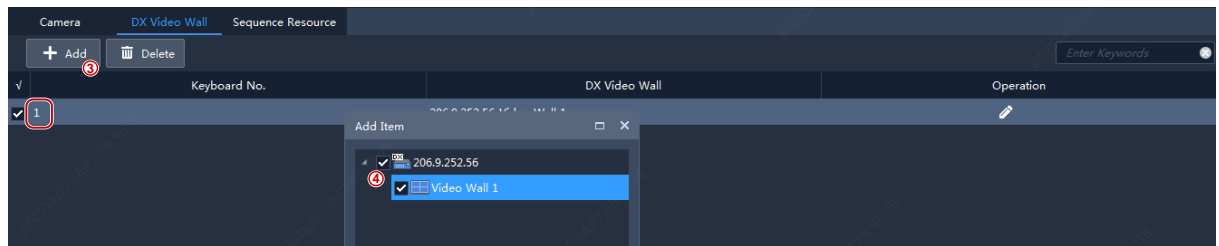
1. カメラを追加します。**Camera** タブ上で、**Add** をクリックし、ビデオウォールで再生するカメラを選択して **OK** をクリックします。リストにカメラが表示されます。

ヒント：後でキーボードを操作するときに番号（130 など）を使用します。



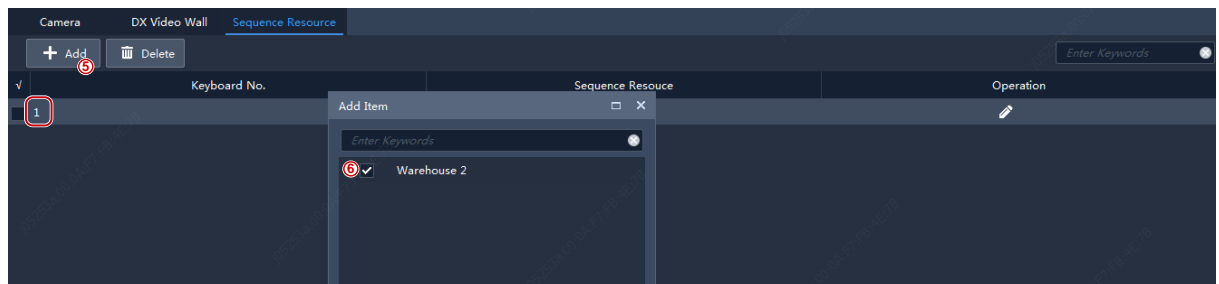
2. ビデオウォールを追加します。**DX Video Wall** タブ上で、**Add** をクリックし、ビデオウォールを選択して **OK** をクリックします。最初にビデオウォールを構成する必要があります。詳しくは[ビデオウォール](#)をご覧ください。

ヒント：キーボードを操作するときに番号（1 など）を使用します。

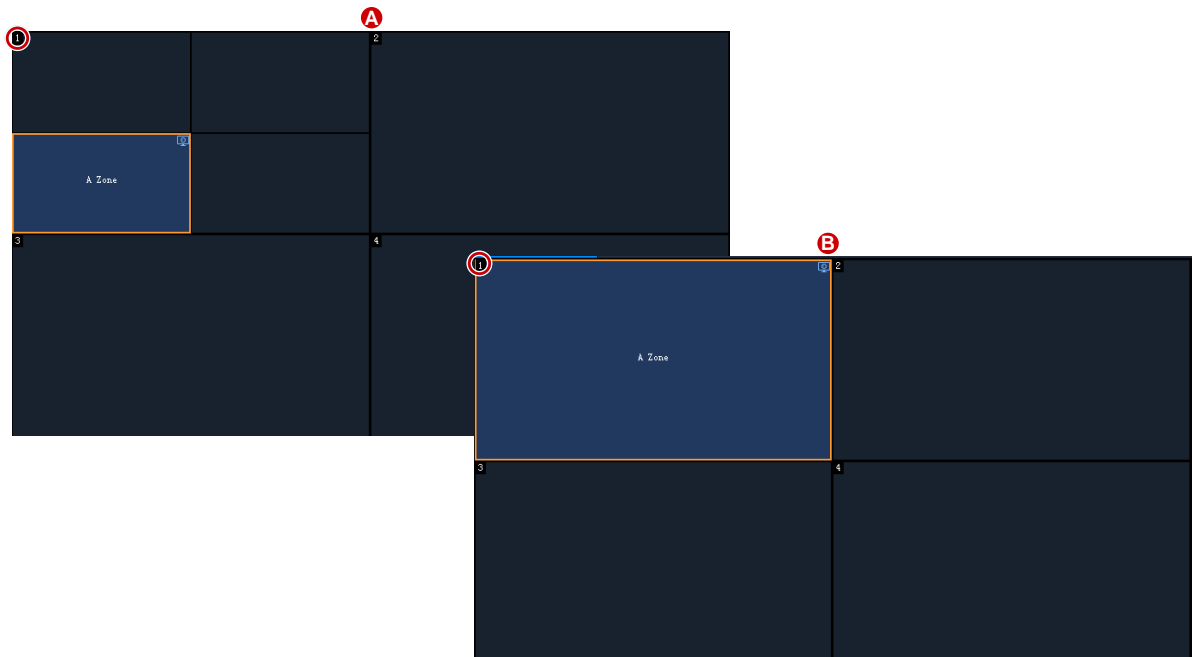



3. シーケンスリソースを追加します。**Sequence Resource** タブ上で、**Add** をクリックし、シーケンスリソースを選択して **OK** をクリックします。まずシーケンスリソースを構成する必要があります。詳しくは[シーケンスリソース](#)をご覧ください。

ヒント：キーボードを操作するとき番号（1 など）を使用します。



4. 次の操作は、ネットワークキーボード上で行います。
- 手順 2 のキーボード番号を入力し（例: 1）、**AUX4** を押します。
 - 左上隅のウィンドウ番号を入力し（A と B の両方で 1 です）、**MON** を押します。
 - 分割画面番号を入力してから、**WIN** を押します。ウィンドウが分割されている場合（A の場合）、分割画面番号 3 を入力します。ウィンドウが分割されていない場合（B の場合）、1 を入力します。この手順は、ビデオウォールでライブビデオを再生する場合にのみ必要です。シーケンスリソースを再生する場合は、この手順をスキップしてください。
 - ビデオウォールで再生するカメラまたはシーケンスリソースを選択します。
 - ライブビデオ：手順 1 のキーボード番号を入力し（例: 130）、**CAM** を押します。
 - シーケンスリソース：手順 3 のキーボード番号を入力し（例: 1）、**CAM_G** を押します。



5. ビデオウォールでライブビデオが開始された後は、以下の操作が可能です。
- ジョイスティックを使用して PTZ カメラの回転を制御し、ズームボタンとフォーカスボタンを使用してズームとフォーカスを制御します。
 -  ボタンを使用するとライブビデオを録画に切り替えることができます。

詳細については、キーボードのユーザマニュアルをご覧ください。

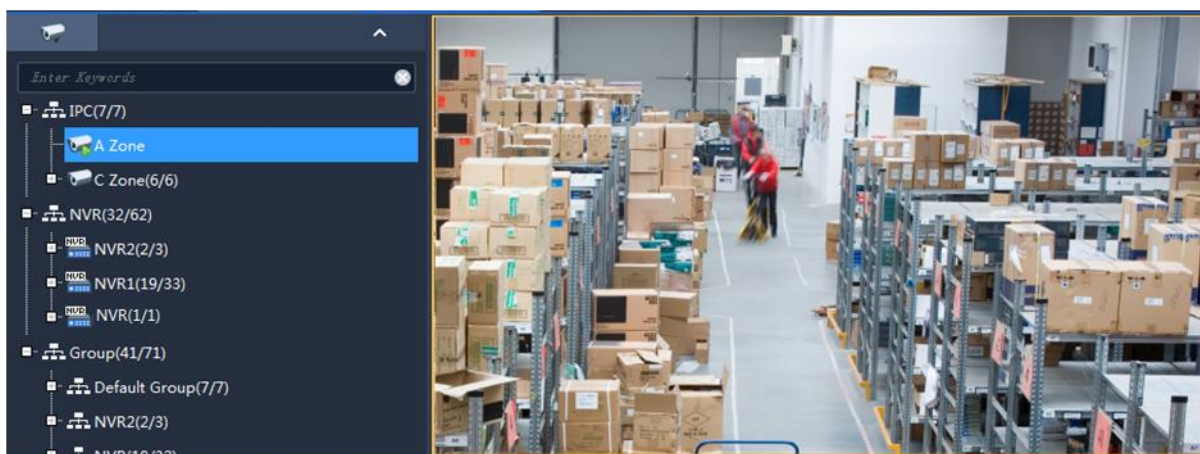
5 ライブビュー

ライブビュー

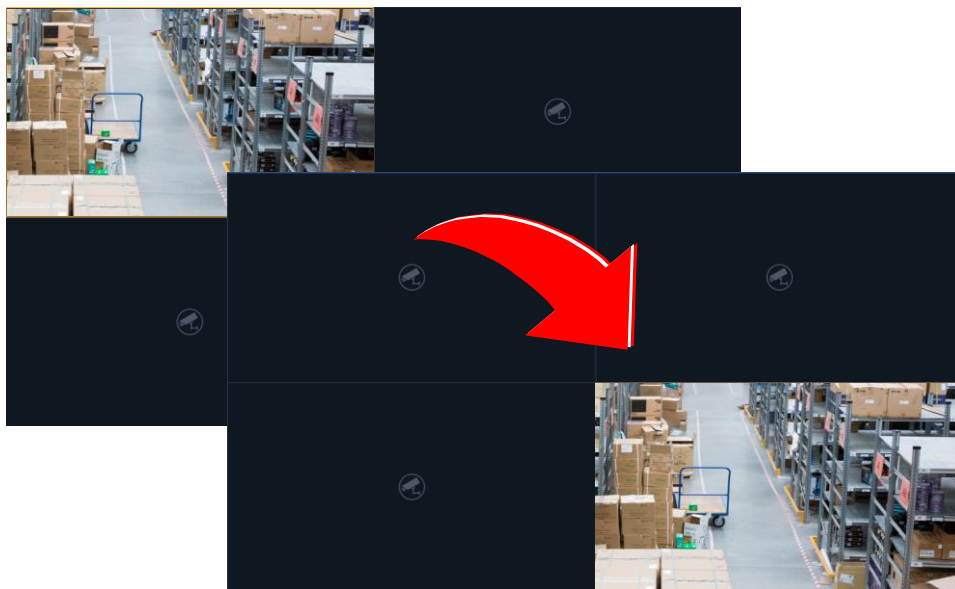
コントロールパネル上の **Live View** をクリックして、カメラからのライブビデオを表示します。

ライブビデオの再生

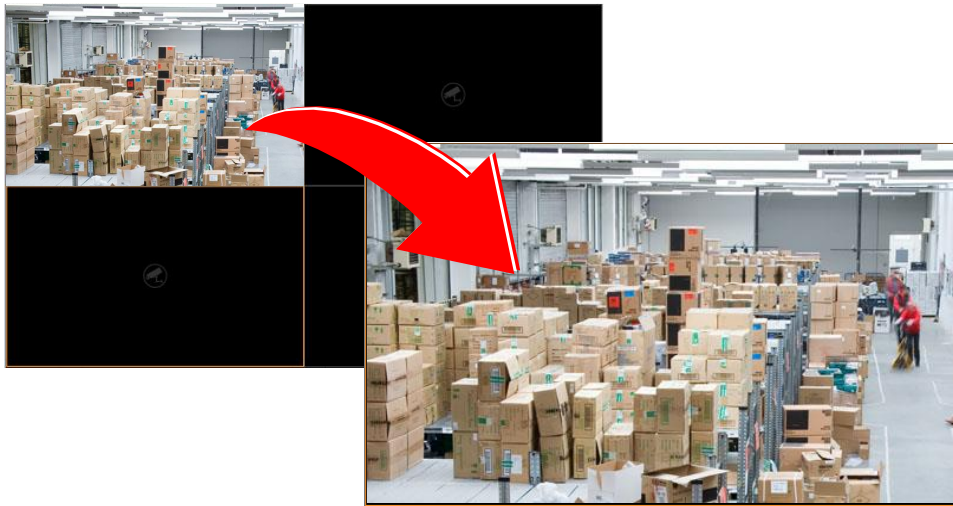
1. **Camera** タブでカメラをダブルクリックするか、ウィンドウにドラッグしてライブビデオを開始します。



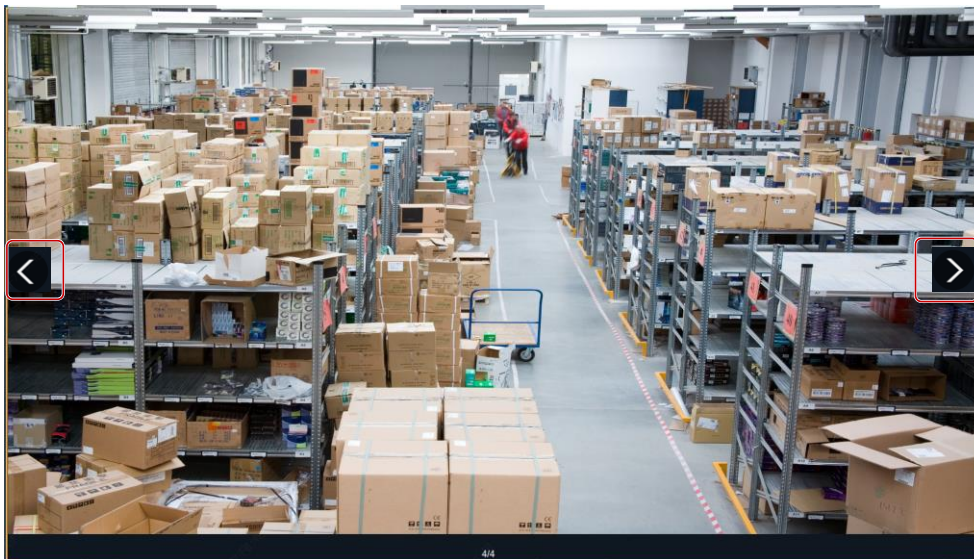
2. カメラを右クリックすると、ストリーム種別の選択またはカメラ名の変更ができます。
3. 画像をドラッグし、別のウィンドウで再生することができます。



4. ウィンドウをダブルクリックすると最大化し、もう一度ダブルクリックすると復元されます。



ウィンドウを最大化した後、マウスをライブビューページの左または右側に移動し、**<** または **>** をクリックすると、前または次のチャンネルのライブビデオに切り替わります。



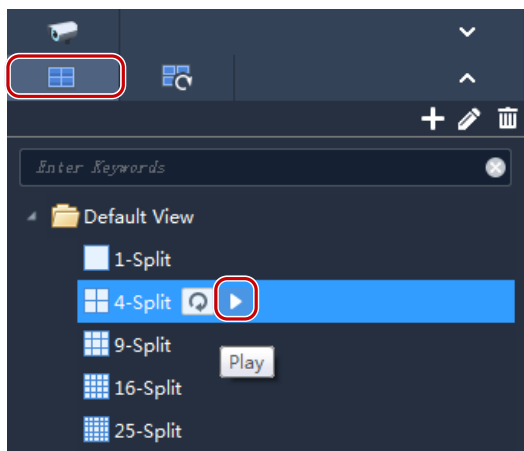
5. ライブビュー中は、ライブビューツールバーまたはウィンドウツールバーを使用できます。

ビューによるライブビデオの再生

デフォルトビュー

View タブ上で、デフォルトビューをダブルクリックするか、**Play** をクリックすると、カメラリスト上の対応する数のカメラからライブビデオを開始できます：4 分割ビュー用の 4 台のカメラ、9 分割ビュー用の 9 台、16 分割ビュー用の 16 台、25 分割ビュー用の 25 台。

ここでは **4-Split** を例にとります。



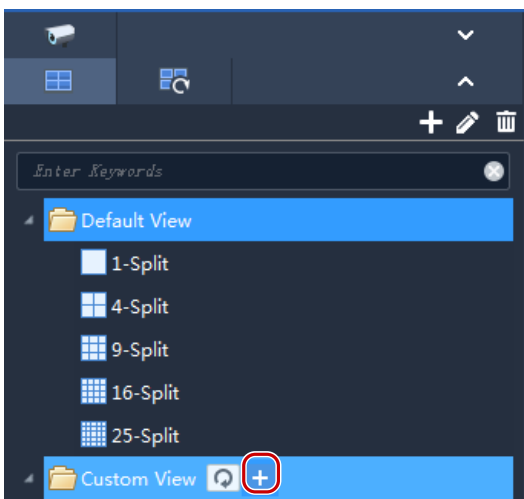
以下に示すように、カメラリストの最初の 4 台のカメラからのライブビデオが再生されます。

Cam 1	Cam 2
Cam 3	Cam 4

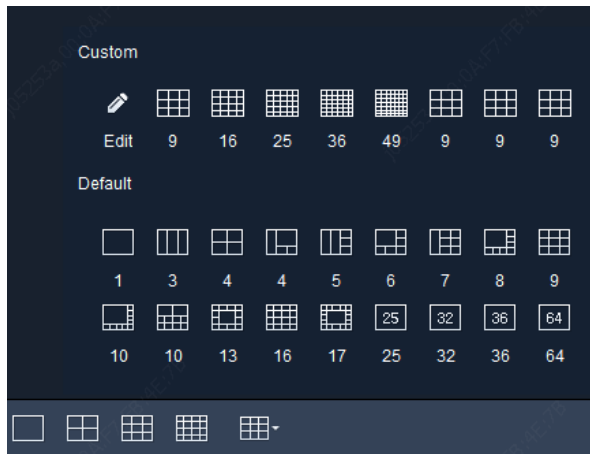
カスタムビュー

カスタムビューで指定されたカメラからライブビデオを再生します。

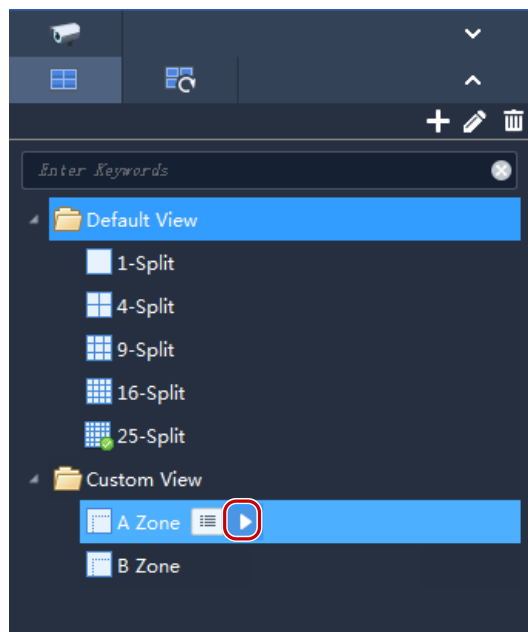
1. **View** タブ上で **Add View** ボタンをクリックしてビューを作成します。



2. ウィンドウレイアウトを選択します。 をクリックしてカスタムレイアウトを編集します。編集時には **Combine** または **Undo** を利用できます。



3. カメラまたはシーケンスリソースを 1 つずつ目的のウィンドウにドラッグします。
4. **OK** をクリックします。
5. カスタムビューをダブルクリックするか、**Play** をクリックして、レイアウト（ステップ 2 で設定）の対応するウィンドウでカメラ（ステップ 3 で指定）からライブビデオを開始します。



ライブビューコントロール

ライブビューツールバー

ライブビューツールバーは、ライブビューウィンドウの下部にあります。



ボタン	説明
A	ウィンドウレイアウトを設定します。
B	現在のビューを直接保存するか、別のビューとして保存します。
C	ビデオ再生中のすべてのウィンドウを閉じます。
D	すべてのスナップショットを撮影します。
E	シーケンスディスプレイの一時停止/再開
F/G	前/次のグループを再生するか、シーケンスディスプレイで表示します。
H	全画面モードに切り替えます。ESC を押すと解除します。

ライブビューウィンドウツールバー



ライブビューウィンドウにマウスポインタを置くと、ウィンドウツールバーが表示されます。ツールバーは、現在のウィンドウに対してのみ有効です。



ボタン	説明
A	スナップショットを撮影します。スナップショット形式とストレージパスは、 クライアントの設定 で設定できます。
B	現在のウィンドウで再生しているライブビデオを PC に録画します。ビデオ形式とストレージパスは、 クライアントの設定 で設定できます。
C	デジタルズームです。有効にすると、マウスをドラッグして画像上に領域を指定してズームインをオンにし、スクロールホイールを使用してズームインまたはズームアウトできます。
D	スピーカー音量を調整し、PC 用ではミュートすることもできます。
E	双方向音声です。
F	インスタント再生を開始します。現在のウィンドウで直近 5 分 30 秒間で再生されていたライブビデオを再生します。再生は最後に一時停止し、その後はライブビデオを手動で開始する必要があります。
G	現在のビデオのビットレートと解像度です。



ヒント！

- カメラが PTZ カメラの場合、ツールバーに  が表示されます。このボタンをクリックすると、PTZ コントロールパネルが開きます。
- カメラが魚眼カメラの場合、ツールバーに  が表示されます。このボタンをクリックすると、魚眼レンズコントロールパネルが開きます。

ライブビューショートカットメニュー

ライブビューウィンドウを右クリックすると、ショートカットメニューが表示されます。メニュー上のいくつかの項目は、ライブビューツールバーおよびウィンドウツールバーと同じ機能を提供します。一部については以下の表で説明します。

パラメータ	説明
ストリームのタイプ	現在のウィンドウのストリーム種別を選択します：自動、メイン、サブ、およびサードストリーム（オプションはデバイスによって異なる場合があります）。 注意： <ul style="list-style-type: none">サブストリームとサードストリームは、利用できない場合は表示されません。ストリーム種別の選択は、シーケンスディスプレイでは許可されていません。
手動アラーム	手動でアラームをトリガーします。 注意： 最初にトリガーするアクションを設定しておくことをお勧めします（ アラーム起動型アクションの設定 参照）。このボタンをクリックすると、アラームが生成され、設定されたアクションがトリガーされます。
カメラ情報	ディスプレイフレームレート、解像度、ビットレート、ビデオ圧縮形式、およびパケットロス率を表示します。
ローカル録画の再生	PC でローカル録画を含むフォルダーを開き、現在のウィンドウで再生します。



ヒント！

デフォルトのストリーム種別は自動です。

- ローカルデバイスの場合、クライアントは画面レイアウトにしたがってストリーム種別を選択します。
 - 4 ウィンドウ以下：メインストリーム
 - 4～16 ウィンドウ（16 を含む）：サブストリーム
 - 16 を超えるウィンドウ：第3ストリーム
- クラウドデバイスの場合、デフォルトはサードストリームです。

PTZコントロール

PTZ カメラの回転方向と速度、パン/チルト/ズーム、フォーカスを制御します。このソフトウェアは、3D ポジショニング、プリセット、パトロール機能など、他の機能も提供します。

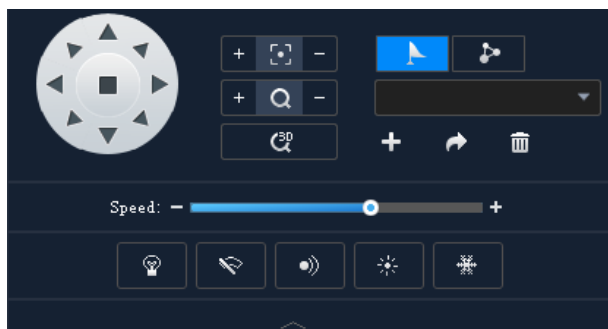


ヒント！

PTZ コントロールは PTZ カメラでのみ使用でき、カメラの機能とサポートするプロトコルによって異なる場合があります。たとえば、一部のメーカーは、ワイパーやメニューなどの特定用途のために特定のプリセットを予約しています。使用前にカメラの仕様をご覧ください。

PTZ コントロールパネル

ライブビューウィンドウツールバー上で  をクリックすると、PTZ コントロールパネルが開きます。このパネルは折りたたんだり展開したりできます。

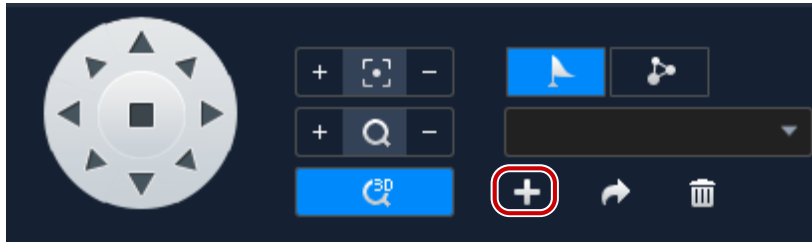


パラメータ	説明
	<p>回転方向を制御するか、回転を停止します。</p> <p>ヒント：</p> <ul style="list-style-type: none"> ショートカット PTZ コントロールを使用してカメラを回転させることもできます。ライブビューウィンドウにマウスポインタを置き、ポインタの形状が  のように変わったら、左ボタンをクリックして長押しすると、カメラが回転します。 Client Configuration > Audio & Video から Shortcut PTZ Control を有効化/無効化できます。 3D ポジショニングが有効な場合、ショートカット PTZ コントロールは無効です。
	<p>フォーカスとズームを調整します。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ライトを制御します。 ワイパーを制御します。 IR を制御します。 ヒーターを制御します。 除雪機能を制御します。
	<p>回転速度を調整します。</p>
	<p>タブをクリックすると、3D ポジショニングを有効化/無効化します。3D ポジショニングが有効になっている場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> 画像の任意の場所をクリックすると、カメラが自動的にその方向に回転します。 マウスを上から下にドラッグすると選択した領域にズームインします。下から上にドラッグするとズームアウトします。
	<p>プリセットタブです。</p>
	<p>パトロールタブです。</p>

プリセット

PTZ カメラの状態を保存するプリセットを追加できます。必要に応じて、ボタンを 1 回クリックするだけで、以前に設定した位置にカメラを回転できます。プリセットは、プリセットパトロールの設定にも使用されます（[プリセットパトロール](#)参照）。

1. カメラを目的の方向に回転させます。

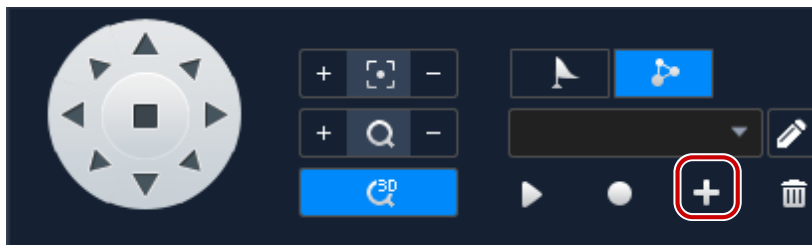


2. Preset タブで Add Preset をクリックします。使用されていないプリセット番号を入力してください。使用されている番号を入力すると、既存のプリセットは新しいプリセットに置き換えられます。

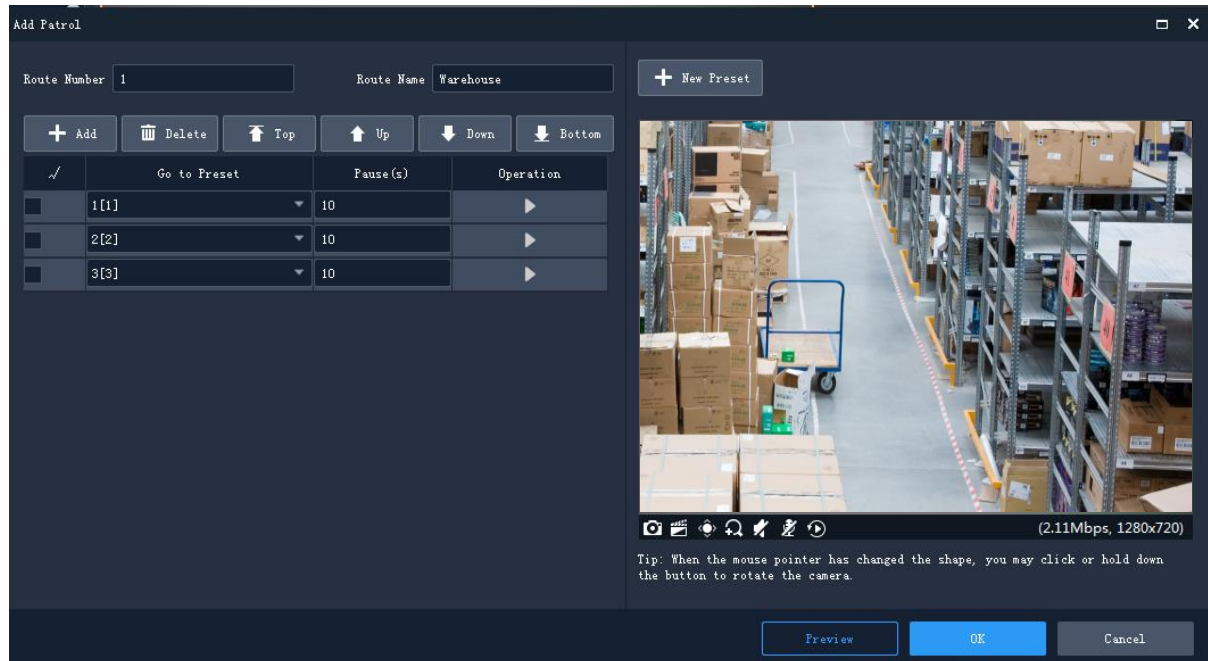
プリセットパトロール

カメラは、設定された順序で複数のプリセットに沿ってパトロールし、一定時間、各プリセットに留まります。プリセットパトロールルートはプリセットで構成されているため、最初に必要なすべてのプリセットを追加しておく必要があります（[プリセット](#)参照）。

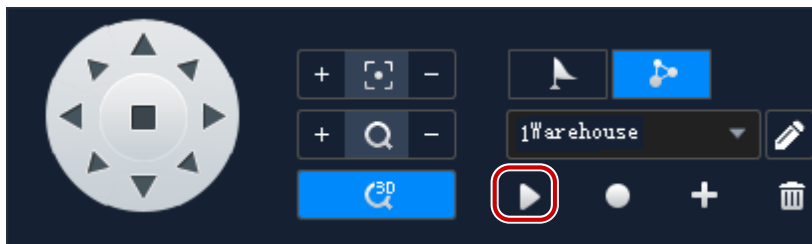
1. Patrol タブで Set Patrol をクリックします。



2. 設定を完了してください。



3. **Add** をクリックし、プリセットを選択し、カメラがその位置に留まる時間の長さを設定します。必要なすべてのプリセットに対してこの手順を繰り返します。
4. **Set Top**、**Up**、**Down**、**Set Bottom** ボタンを使用して、カメラパトロール内での順序を調整できます。
5. **Save** をクリックします。



6. パトロールルートがパトロールルートリストに表示されます。**Start Patrol** をクリックするとカメラは設定したプリセットに沿ってパトロールを開始します。

録画パトロール

ユーザーがカメラを操作している間、ソフトウェアがカメラの移動軌跡と状態を記録し、パトロールルートとして保存します。現在、録画パトロールルートが1つのみサポートされています。



1. **Start Recording Patrol Route** をクリックしてください。
2. 方向ボタンまたはショートカット PTZ コントロールを使用して、カメラを目的の方向に回転し、必要な時間だけ静止させます。必要に応じてズームとフォーカスを調整してください。
3. **Stop Recording Patrol Route** をクリックします。録画パトロールルートがパトロールルートリストに表示されます（名前は 0 [Recorded Patrol] となります）。
4. **Start Patrol** をクリックしてください。カメラはパトロール中に実行したアクションを繰り返します。

魚眼コントロール

目的の画像を取得するために、魚眼をコントロールし、マウントモードとディスプレイモードを設定できます。

- マウント：天井、壁、デスクトップ
- ディスプレイモード：オリジナル画像、360° パノラマ +1PTZ, 180° パノラマ、魚眼 +3PTZ、魚眼 +4PTZ、360° 魚眼 +6PTZ、魚眼 +8PTZ、パノラマ、パノラマ +3PTZ、パノラマ +4PTZ、パノラマ +8PTZ (オリジナル画像をクリックすると歪曲補正モードから通常モードに切り替わります)。



ヒント！

- 魚眼コントロールボタンは、魚眼カメラでのみ使用できます。
- 歪曲補正モードでは、PTZ ウィンドウをクリックしてからマウスを使用して画像をドラッグするか、スクロールホイールを使用してズームイン/ズームアウトできます。または、パノラマウィンドウをクリックしてから、境界領域をドラッグして、ズームインまたはズームアウトします。
- 歪曲補正モードではデジタルズームは無効になり、デジタルズームボタンは非表示になります。デジタルズームが有効になっているときに歪曲補正モードに切り替えると、デジタルズームは自動的に無効になり、画像は元のサイズに戻ります。
- 解像度が D1 未満の場合、歪曲補正モードは使用できません。魚眼レンズコントロールボタンはグレースアウトされます。
- 魚眼コントロールは Mac OS システムでは使用できません。

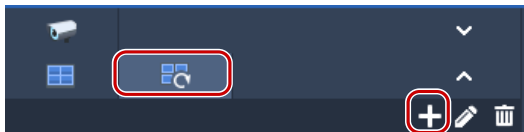
シーケンスディスプレイ

シーケンスリソース

グループ内のカメラからのライブビデオをウィンドウで 1 つずつ再生します。最初にシーケンスリソースを作成しておく必要があります。

シーケンスリソースの作成

1. **Live View** ページ上で **Sequence Resource** タブをクリックし、**Add** ボタンをクリックします。コントロールパネル上で **Sequence Resource** をクリックしてシーケンスリソースを追加することもできます。



- シーケンスリソース名、シーケンス間隔、含めるビデオチャンネル、ストリーム種別、プリセット（PTZ カメラ）など、ウィンドウ内の設定を完了してください。必要に応じ、**Top**、**Up**、**Down** および **Bottom** ボタンをクリックしてシーケンスを調整してください。

The dialog box 'Sequence Resource Info' contains the following elements:

- Name:** Warehouse
- Interval (s):** 20
- Enable Sequence Resource:** ☒
- Video Channel:** A tree view on the left showing a hierarchy of channels. 'Warehouse (2/2)' is selected and highlighted in blue. A blue arrow button '»' is positioned between the tree and the table.
- Buttons:** 'Delete', 'Top', 'Up', 'Down', and 'Bottom' are located at the top right.
- Table:** A table with columns 'Channel Name', 'Stream', and 'Preset'. It contains two rows: 'B Zone' and 'A Zone', both with 'Sub' in the Stream column.
- Remarks:** A large text area at the bottom for additional notes.
- Footer:** 'OK' and 'Cancel' buttons.

✓	Channel Name	Stream	Preset
<input type="checkbox"/>	B Zone	Sub	
<input type="checkbox"/>	A Zone	Sub	

- OK をクリックします。

シーケンスリソースの再生

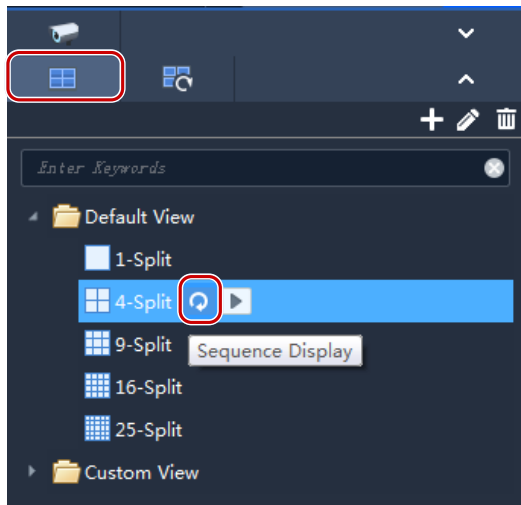
Sequence Resource タブ上でシーケンスリソースをダブルクリックすると、シーケンスディスプレイが開始します。

シーケンスビュー

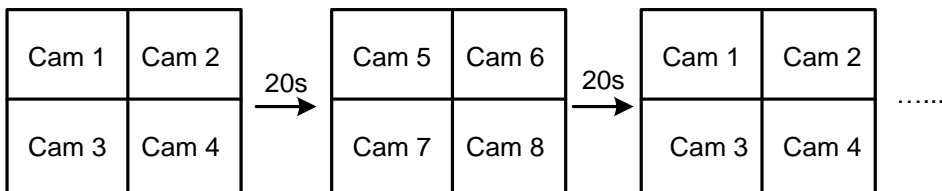
デフォルトビューシーケンス

デフォルトビューに基づいて、カメラリストのカメラからライブビデオを順番に再生します。

1. **View** タブで **Sequence Display** ボタンをクリックしてスプリットビューを作成します。
ここでは **4-Split** ビューを例にとります。



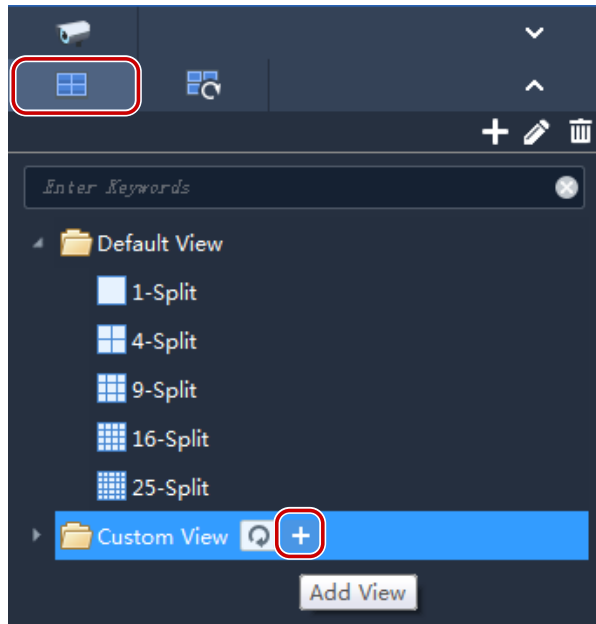
2. シーケンスの表示間隔を設定します。
3. 8 台のカメラがあり、シーケンス間隔が 20 秒に設定されているとします。その場合、シーケンスは以下に示すように表示されます。



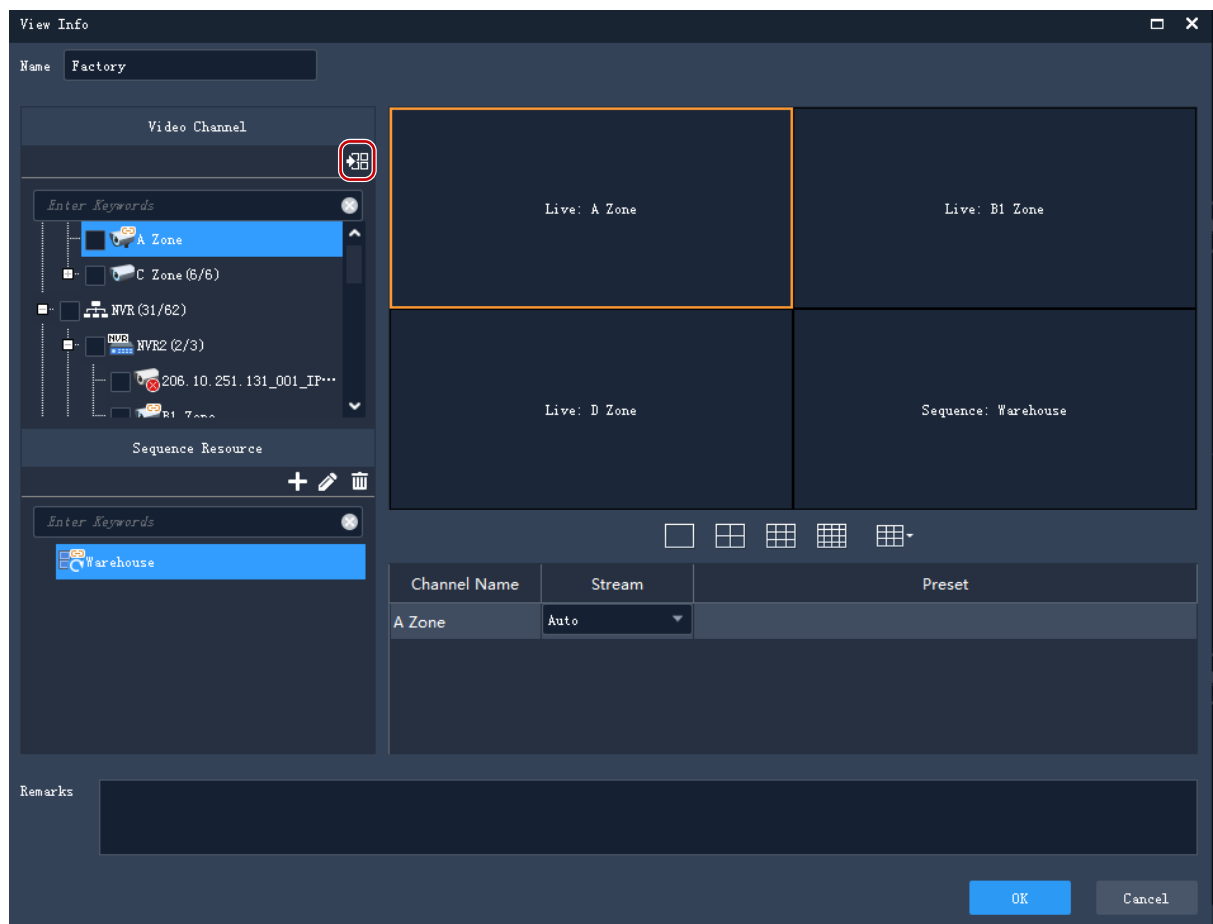
カスタムビューシーケンス

カスタムビューでライブビデオを順番に再生します。

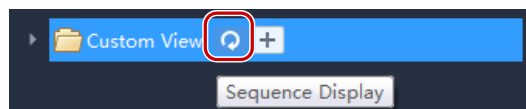
1. カスタムビューを作成するには、**Add View** をクリックします。



2. ビュー名、ウィンドウレイアウト、カメラ/シーケンスリソースとウィンドウ間のバインド（カメラ/シーケンスリソースをウィンドウにドラッグするか、**Batch Add** をクリック）、ストリーム種別（カメラのみ）、プリセット（PTZ カメラのみ）など、ウィンドウ内の設定を完了してください。設定が完了したら **OK** をクリックします。



- 上記の手順を繰り返して、必要なカスタムビューをすべて作成します。
- Sequence Display** ボタンをクリックし、作成したカスタムビューの順序を確定します。



6 録画と再生

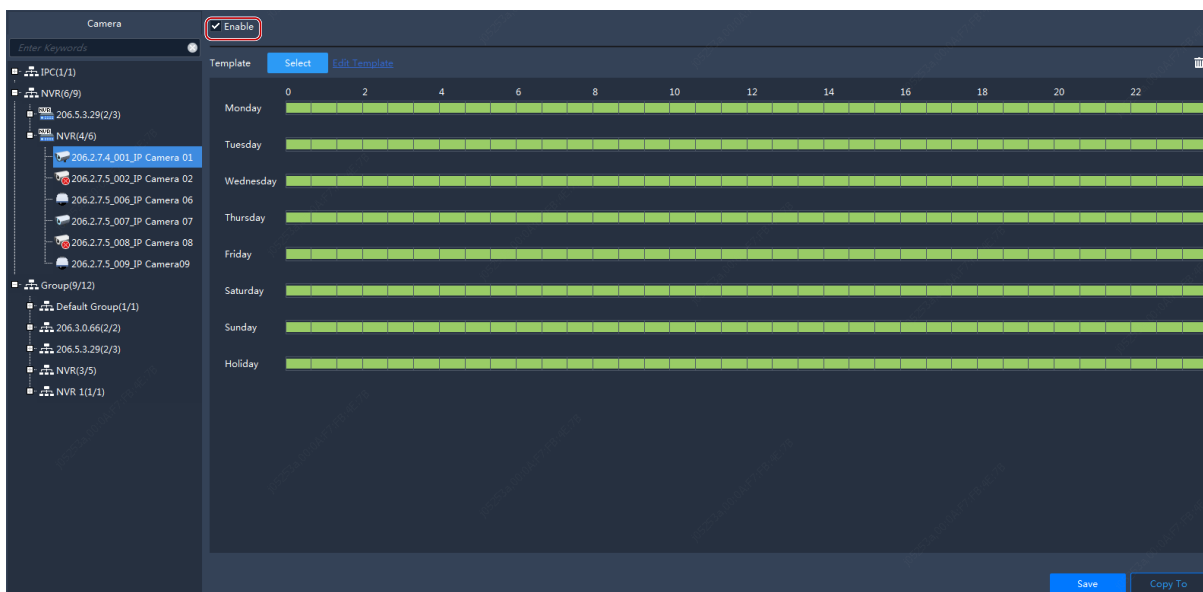
ビデオの録画および再生またはダウンロード用に検索を行うことができます。

録画スケジュールの設定

NVR に録画スケジュールを設定して、ビデオを自動的に録画できます。この機能は、NVR 接続カメラでのみ利用できます。録画されたビデオは、PC ではなく NVR に保存されます。コントロールパネルの **Recording Schedule** をクリックして次の手順を実行してください。

毎日 24 時間録画スケジュールの設定

テンプレートを使用して、毎日 24 時間の録画スケジュールを設定します。

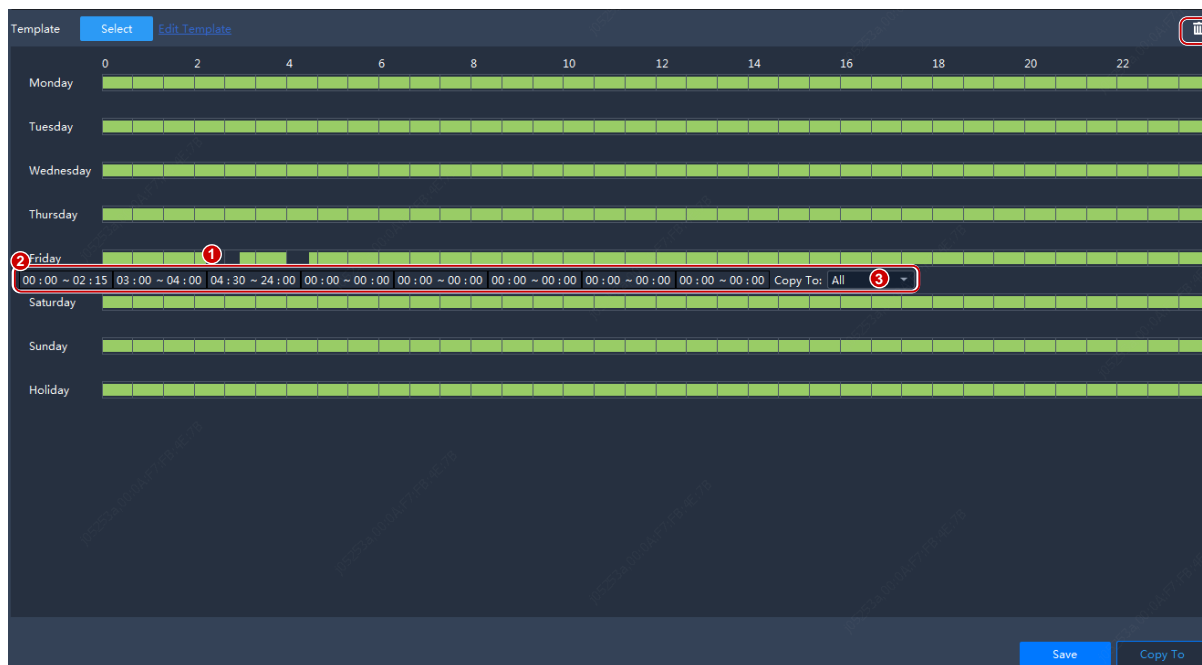


1. 録画スケジュールを設定するカメラを選択してください。
2. **Enable** チェックボックスが選択されていることを確認してください。
3. **Select** ボタンをクリックし、**All Day** テンプレートを選択します。カレンダーの青色表示は、ビデオが記録される期間を意味します。
4. **Save** をクリックします。

録画スケジュールのカスタマイズ

毎日 24 時間の録画スケジュールをベースにカスタマイズできます。

1. 緑色の部分をクリックまたはドラッグして消去するか、空白領域をクリックまたはドラッグして追加します。右上の **Clear** ボタンをクリックすると、すべての時間帯がクリアされます。
2. 手順 1 で説明した方法に加え、開始時間と終了時間を手動で入力することもできます。1 日につき、最大 8 つの時間帯を設定できます。





3. 1 日の設定が完了したら、ドロップダウンリストから選択して、設定を他の日にコピーできます。たとえば **All** を選択します。
4. **Save** をクリックすると、選択されたカメラの設定が完了します。
5. 他のカメラで同じ録画スケジュールを作成するには、**Copy To** をクリックします。



ヒント！

All Day および **Work Day** テンプレートに加えて、8 つのテンプレートをカスタマイズして、さまざまな録画スケジュールを保存できます。

ビデオの手動録画

ウィンドウツールバー上の Start Local Recording () および Stop Local Recording () ボタンをクリックして、ライブビデオを PC にローカル保存できます。ストレージパスとビデオ形式は、クライアント設定から設定できます。

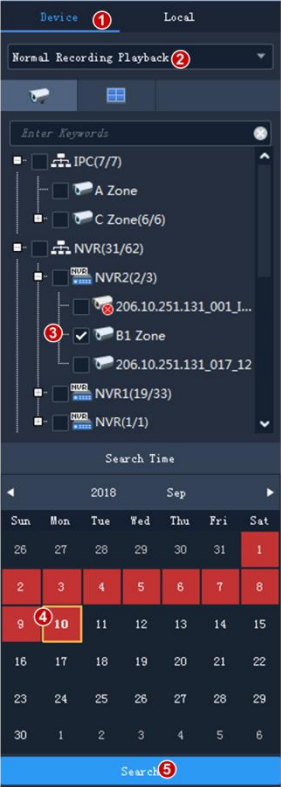


再生

コントロールパネルの **Play Back** をクリックすると、デバイスの録画やローカル録音を含む録画の検索および再生ができます。

デバイス録画の再生

デバイスの録画とは、NVR またはカメラにマウントされている SD カードに保存されているビデオを指します。デバイス録画を検索する場合、表示される時間は、PC ではなくデバイスのシステム時間と同じものです。GUI と操作は、選択した再生種別によって異なる場合があります。一般的な手順を説明するために、例として通常の録画再生を取り上げます。

手順	説明
	<ol style="list-style-type: none"> 1) 録画ソース（デバイス録画）を選択します。 2) 再生種別を選択します。 3) カメラを選択します。 4) 検索時間を選択または設定します。デバイスが別のタイムゾーンにある場合は、デバイスのローカル時間を使用してください。 5) Search をクリックします。 <p>注意：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 手順 2 では、サブタイプを選択することで、イベント録画または VCA 録画を検索できます。 • 手順 3 では、複数の選択が許可されている場合、最大 16 台のカメラがサポートされます。 • 手順 4：カレンダーには、選択したカメラの検索結果が表示されます（青は通常の録画、赤はアラーム録画を意味します）。この機能は、通常録画再生モードとスマート録画再生モードでのみ使用できます。

ローカル録画と画像の再生

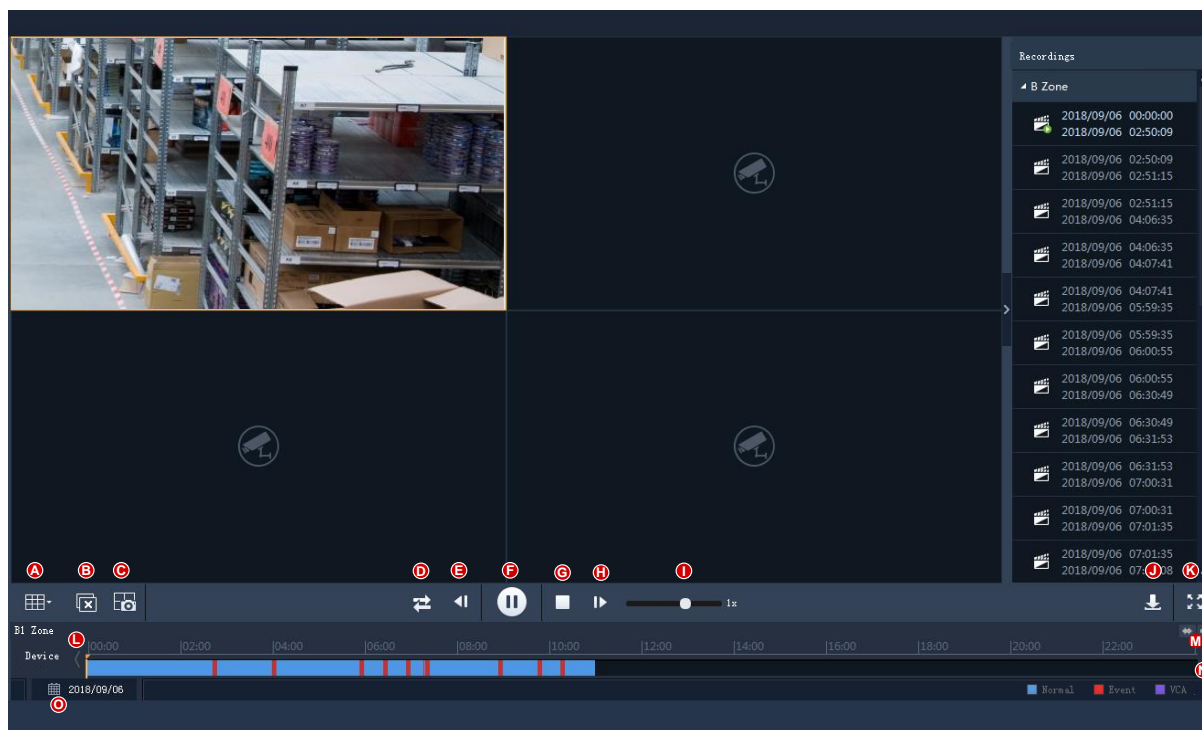
PC に保存されているビデオや画像を検索して再生します。ローカル録画の時間は、PC の時間です。

1. **Local** タブをクリックしてください。
2. カメラを選択します。
3. 検索時間を設定します。
4. デフォルトでは、録画を検索します。画像を検索するには、**Image** ラジオボタンを選択してください。
5. **Search** をクリックします。検索結果は右側のリストに表示されます。

再生コントロール

右側のリストでファイルをダブルクリックすると、再生を開始します。または、タイムラインをクリックして、対応する時間から再生を開始することもできます。

再生ツールバー



ボタン	説明
A	ウィンドウレイアウトを設定します。
B	すべてのウィンドウを閉じます。
C	クリックすると、すべてのウィンドウで画像のスナップショットを撮ります。
D	<p>クリックすると同期再生モードに切り替えます。同期再生モードでは、操作（たとえば、一時停止、再開、停止、速度の調整、タイムラインをクリックしてそのポイントから再生を開始する）は、すべての再生ウィンドウに対して行われます。</p> <p>注意：</p> <p>同期再生中の頻繁な操作（一時停止/再開、速度の調整など）は、同期パフォーマンスに影響する場合があります。</p>
E/H	フレームごとに再生します。クリックすると画像の前/次のフレームを再生します。
F	一時停止/再開します。
G	停止
I	再生速度を調整します。

ボタン	説明
J	録画をダウンロードします。
K	全画面モードに切り替えます。ESC を押すと解除します。
L/N	タイムラインを前後に移動します。
M	タイムラインを拡大/縮小します。
O	クリックするとカレンダーが開き、別の日付の録画を検索できます。

再生ウィンドウツールバー

ウィンドウツールバーは、マウスカーソルが再生ウィンドウ上にあるときに表示されます。ツールバーの操作は、このウィンドウ専用です。




表 6-1 再生ウィンドウツールバー

ボタン	説明
A	スナップショットを撮影して、PCに保存します。イメージ形式とストレージパスは、クライアント設定で設定可能です（ クライアントの設定 参照）。
B	デジタルズームです。有効にすると、マウスをドラッグして画像上に領域を指定してズームインをオンにし、スクロールホイールを使用してズームインまたはズームアウトできます。
C	ビデオをクリップしてダウンロードします。
D	PCのスピーカーの音量をミュートまたは調整します。
E	現在のビットレートと解像度です。



ヒント！

- カメラが魚眼カメラの場合、ツールバーにが表示されます。このボタンをクリックすると、魚眼レンズコントロールパネルが開きます。
- 画像品質を改善するためにネットワーク環境に応じて、ストリーム伝送プロトコル([クライアントの設定](#)参照)を選択できます。

右クリックメニュー

再生中にウィンドウを右クリックすると、メニューが表示されます。メニューの多くの機能は、ツールバーのボタンと同じです。

ビュー再生

通常の録画再生モードでビュー再生を行うと、設定されたウィンドウレイアウトのウィンドウにバインドされたカメラの録画が再生されます。**View** タブでカスタムビューを選択し、カレンダーで日付を選択して、**Search** をクリックします。

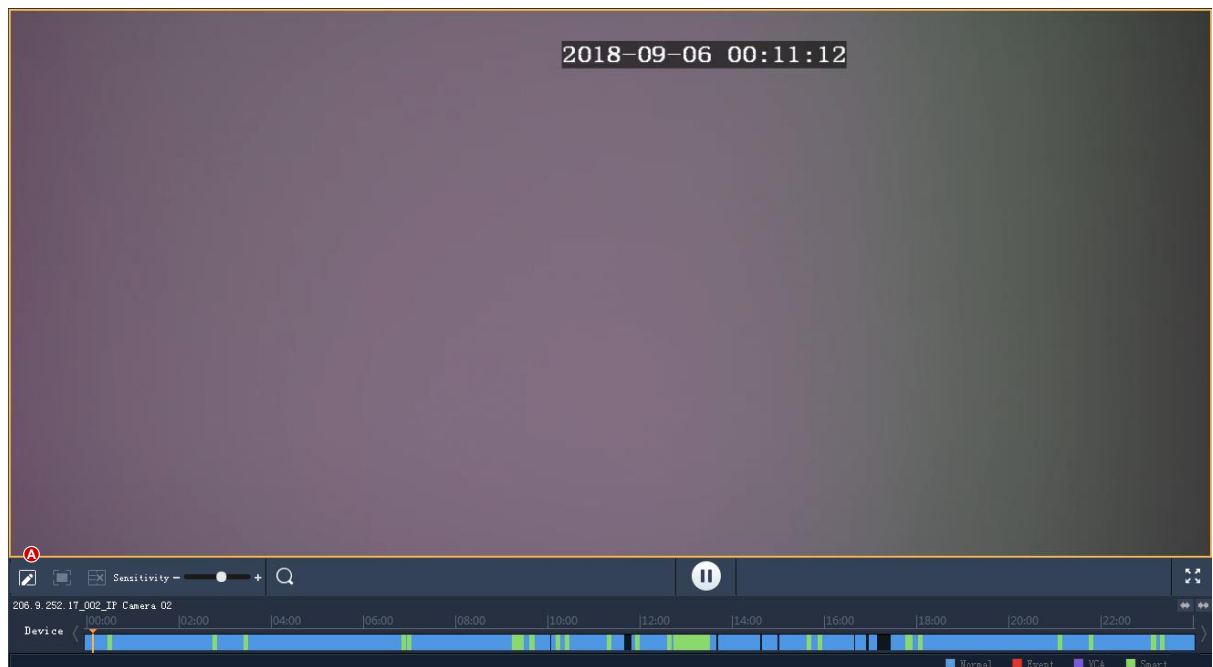
この機能はデバイス録画のみで利用できます。

スマート検索

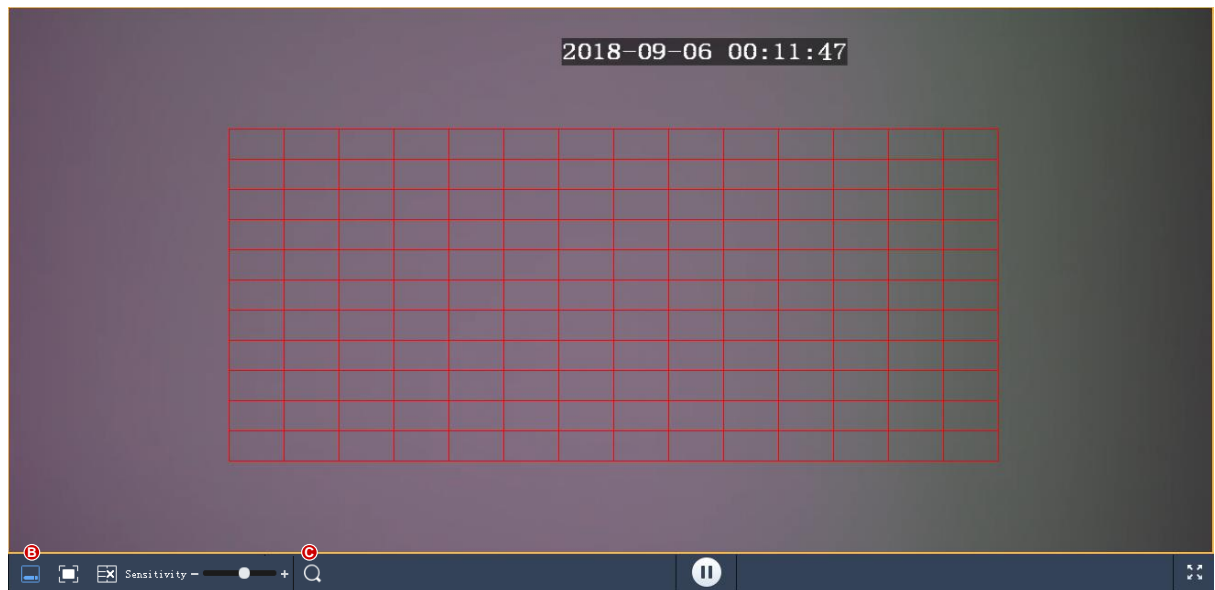
ビデオの録画の際に、NVR は、さまざまな画像の領域に動体を記録します。スマート検索を使用すると、画像中に動体が含まれるビデオを見つけることができます。

注意：この機能は、ソフトウェアが特定の NVR モデルやバージョン（NVR 300 シリーズ、D021SP05 以降のバージョン）で動作する場合にのみ、利用できます。

1. **Device** タブで、ドロップダウンリストから **Smart Recording Playback** を選択します。カメラを選択してから、カレンダーで日付を選択します。
2. タイムラインに検索結果が表示されます。緑はビデオ中で画像が変化している部分を意味し、緑の部分は通常速度で再生されます。他の無関係な部分は高速で再生されます。



3. デフォルトでは、スマート検索によって画面全体が検索されます。**Draw Area** ボタン (A) をクリックして検索領域をドラッグするか、検索領域をクリックして編集できます (赤いグリッドで囲まれた部分)。




4. **Finish Drawing** ボタン (B) をクリックし、必要に応じて検索感度を調整し、**Search** ボタン (C) をクリックすると再度検索されます。

録画のダウンロード

録画のダウンロード

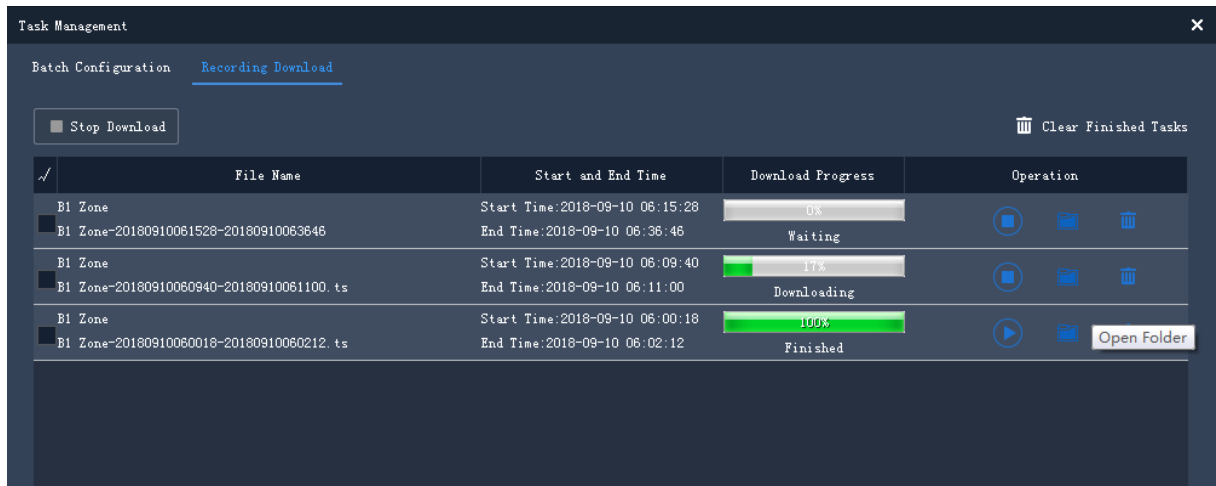
次の操作で、デバイスからパソコンに録画をダウンロードします。

- 検索後に録画リストで **Download** ボタン () をクリックする ([再生ツールバー](#) をご覧ください) 。
- ウィンドウツールバーで **Start Clipping** と **Stop Clipping** のボタンを使用する ([再生ウィンドウツールバー](#) をご覧ください) 。
- 右クリックメニューを使用する。

ダウンロードタスクの管理

GUI の左下にある **Task Management** ボタン () をクリックして、ダウンロードタスクを管理します。

Recording Download タブで、ダウンロードタスクの停止、終了したタスクのクリア、ダウンロードした録画の再生、およびフォルダを開いてダウンロードした録画の表示ができます。



注意：

- ダウンロードタスクを終了しても、すでにダウンロードされた録画はパソコンから削除されません。
- Client Configuration > Audio & Video > Recording** でファイルフォーマットとパスを設定できます。
- ダウンロードした録画を再生するには、ビデオプレーヤー（VLC など）が必要です。

7 ビデオウォール

物理的ビデオウォールでビデオを再生します。

ビデオウォールは、ビデオウォールの作成に使用されるデバイスに応じて、DX ビデオウォールとデコーディングカードビデオウォールに分割されます。

- DX ビデオウォール：デコーディングデバイスによって作成されるビデオウォール。
- デコーディングカードビデオウォール：NVR のデコーディングカードによって作成されるビデオウォール。



ヒント！


- Device Management > Device** で、管理者としてデコーディングデバイスまたは NVR を追加します。
- サポートされるビデオウォールの数、実行できる操作、利用可能な機能は、デコーディングデバイスやバージョンによって異なります。

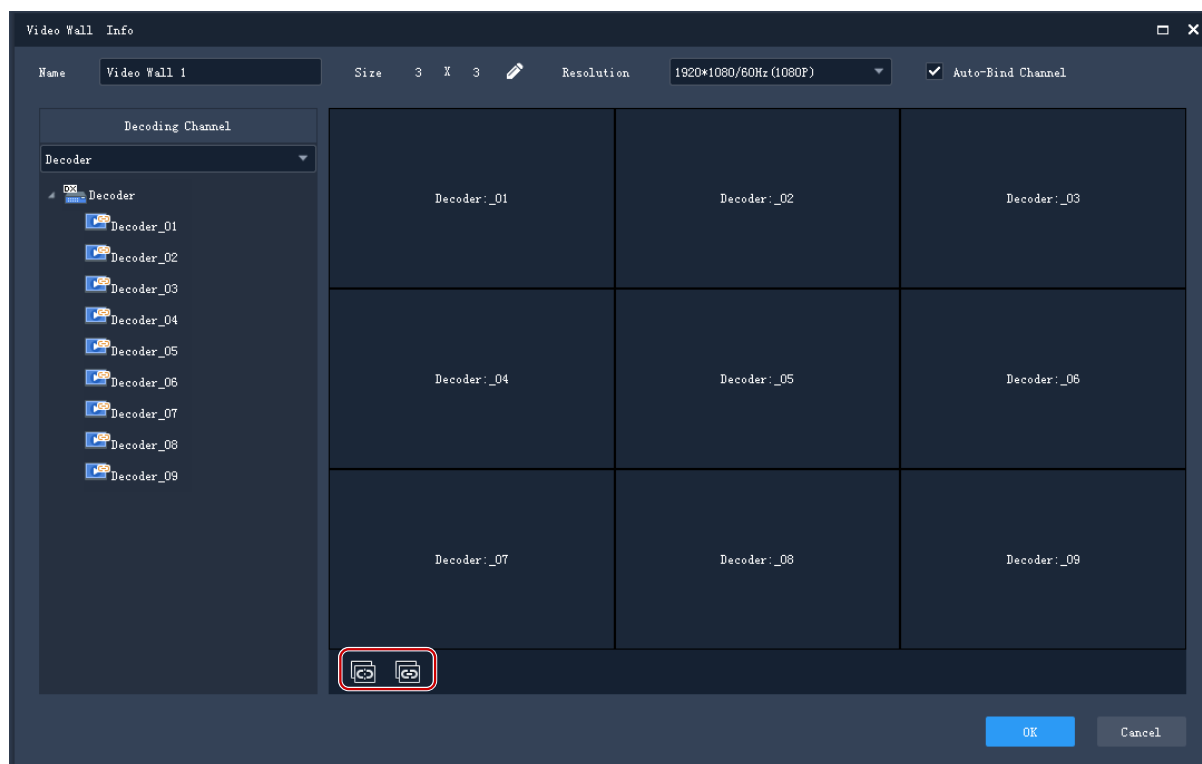
ビデオウォールを追加

コントロールパネルで **DX Video Wall** をクリックします。初めて使用する場合は



をクリックし、ビデオウォールのタイプを選択します。ビデオウォールが


すでに存在する場合、ビデオウォール名の右の  をクリックしてビデオウォールを追加します。



1. ビデオウォール名を入力します。
2. ビデオウォールの作成に使用したいデコーディングデバイスを選択します。ソフトウェアは自動的にビデオウォールのサイズを設定し、ウィンドウにデコーディングチャンネルをバインドします。画面にデコーディングチャンネル名が表示されます。
3. ビデオウォールのサイズ、解像度、またはデコーディングチャンネルとウィンドウの間のバインディングを編集します。必要に応じて **Unbind All** または **Bind All** ボタンを使用します。
4. **OK** をクリックします。


注意：

- ビデオウォールのサイズが物理的ビデオウォールと一致することを確認します。
- 必要に応じて小ピクセルピッチ LED を設定します。特殊 LED 幅は最後の列の幅です。特殊 LED 長さは最後の行の高さです。単位はピクセルです。

5. ビデオウォールを編集または削除するには、ビデオウォール名の横の  をクリックします。

ビデオウォールの操作

ビデオウォールでビデオを再生する

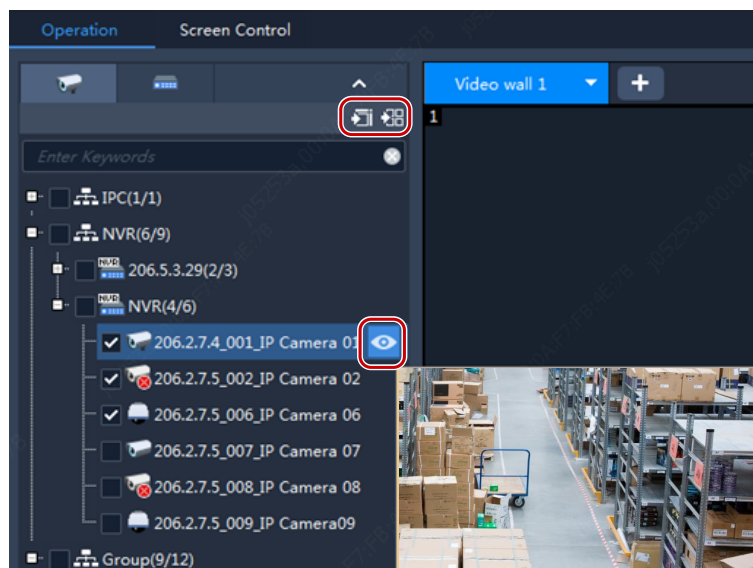
ビデオウォールでビデオを再生する前に、オンラインカメラの後の  にカーソルを置くとライブビデオをプレビューできます。

1. ウィンドウにカメラをドラッグすると、ビデオウォールでライブビデオの再生が始まります。



ヒント！

ビデオウォールによっては、まず画面でウィンドウを開く必要があります。使用可能な機能は実際のビデオウォールによって異なります。たとえば、画面上でドラッグすると手動でウィンドウが開き、既存のレイアウトを選択するか座標とウィンドウサイズを選択すると自動的に開きます。



ヒント：複数のカメラやグループでライブビデオの再生を開始する場合、カメラまたはグループを選択し、ウィンドウをクリックしてから、画面で **Play on Screen** または **Play on Wall** をクリックします。

- 画面で再生：1 枚のウィンドウで再生されます。
 - ウォールで再生：2 枚以上のウィンドウで再生されます。
2. シグナルソース（パソコンなど）を再生するには、**Signal Source** タブをクリックし、希望のウィンドウにシグナルソースをドラッグします。

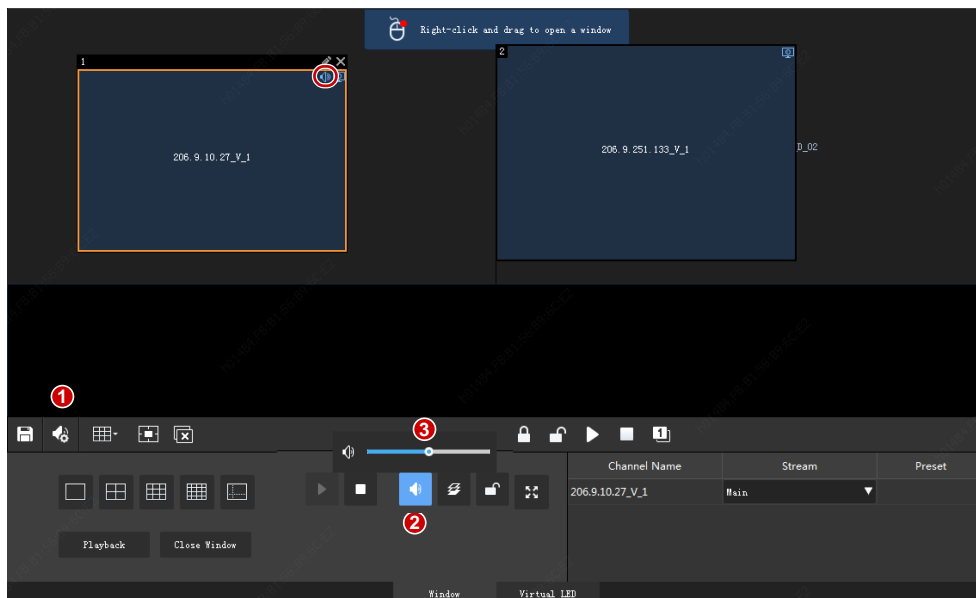
- アラーム起動型ライブビデオを再生するウィンドウを選択するには、ウィンドウを右クリックし、**Set Alarming Window** をクリックします。アラーム起動型ライブビデオが設定されていることを確認します（詳細については [アラーム起動型アクションの設定](#) をご覧ください）。設定をキャンセルするには、ウィンドウを右クリックし、**Cancel Alarming Window** をクリックします。



注意：

- アラームウィンドウとして、1 枚のウィンドウのみを設定できます。
- NVR のデコーディングカードを使用してビデオウォールを作成する場合、アラーム起動型ライブビデオは、NVR 下のカメラでのみ利用できます。

音声出力

ウィンドウまたは画面で再生されるカメラの音声を出力するには、DX デバイスの音声出力チャンネルを使用します。特定の DX デバイスモデルで作成された DX ビデオウォールのみがこの機能に対応しています。



1.  (1) をクリックし、音声チャンネルを選択します。
2. ウィンドウ/画面をクリックしてから  (2) をクリックするか、右クリックして **Audio** を選択します。右上にアイコンが表示されますが、これは、音声チャンネルがウィンドウ/画面の IPC の音声を出力していることを意味しています。
3. 必要に応じて出力音量を調整するか、音声をミュートします。

シーケンスリソースの再生

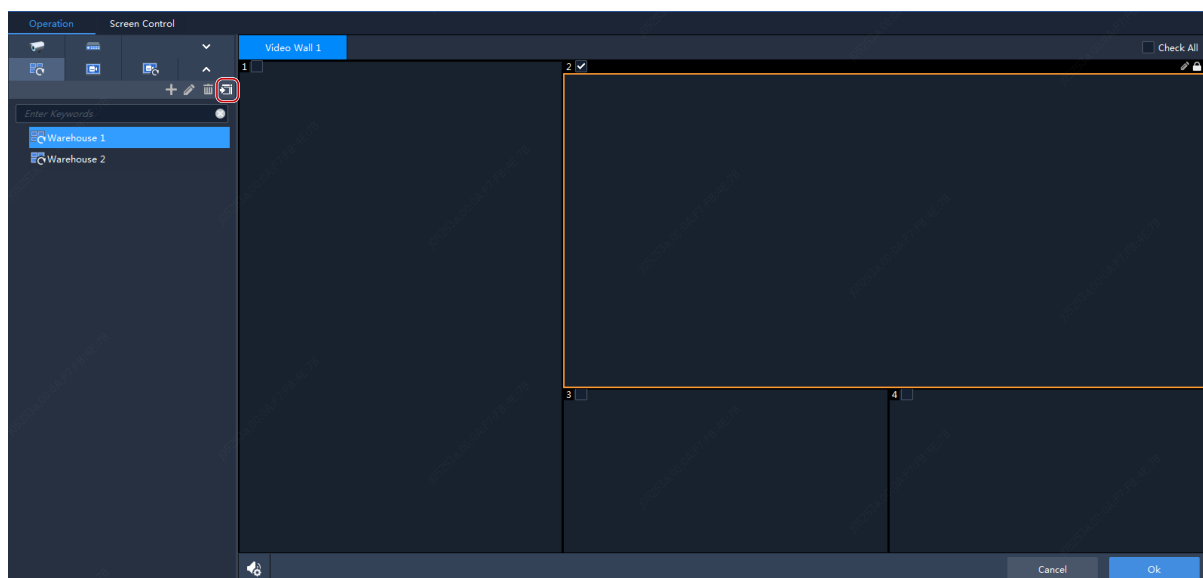
ビデオウォールでシーケンスリソースを再生します。1 枚のウィンドウでのシーケンスビデオ、複数のウィンドウでのシーケンスビデオ、シーケンスシーン、の 3 つのシーケンスモードが利用できます。

1 枚のウィンドウでのシーケンス

Sequence Resource タブで、ウィンドウにシーケンスリソースをドラッグします。

複数のウィンドウでのシーケンス

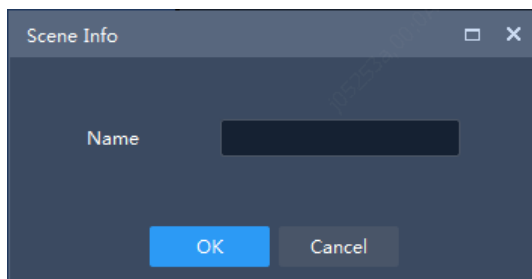
Sequence Resource タブで、シーケンスリソースを選択し、**Play on Screen** をクリックし、ウィンドウを選択します。




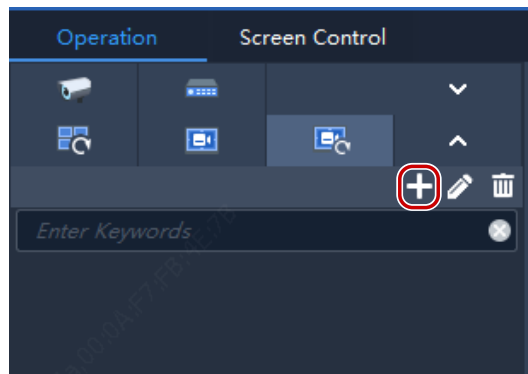
シーケンスシーン

シーンとは、画面レイアウト、ウィンドウ、ビデオサービス（ライブビューまたはシーケンス）を含むビデオウォール設定を指しています。シーンでボタンを 1 回クリックすると、ビデオウォール設定を呼び出すことができます。シーケンスシーンでは、設定された時間に応じて、異なるシーンが表示されます。

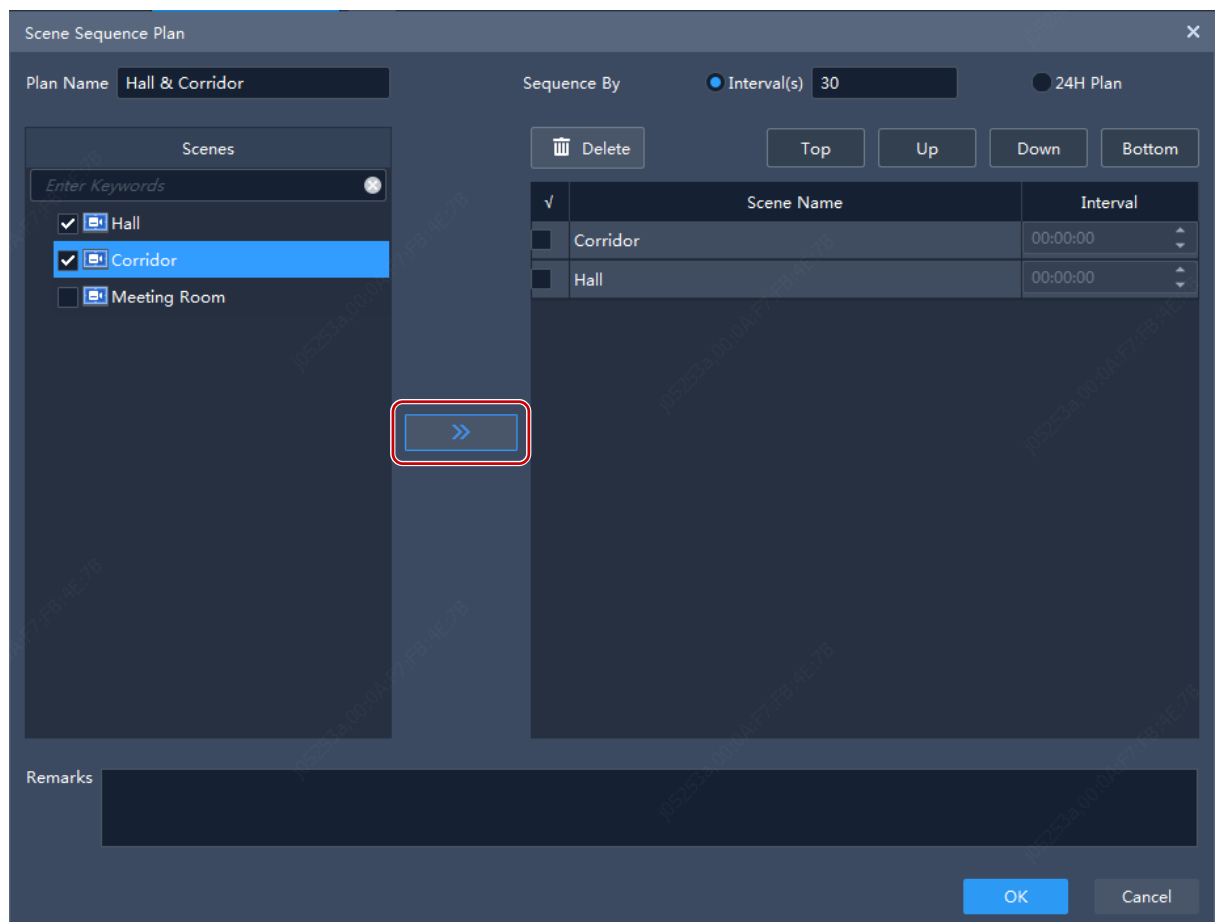
1. **Scene** タブで  をクリックするか  をクリックすると、シーンが作成できます。



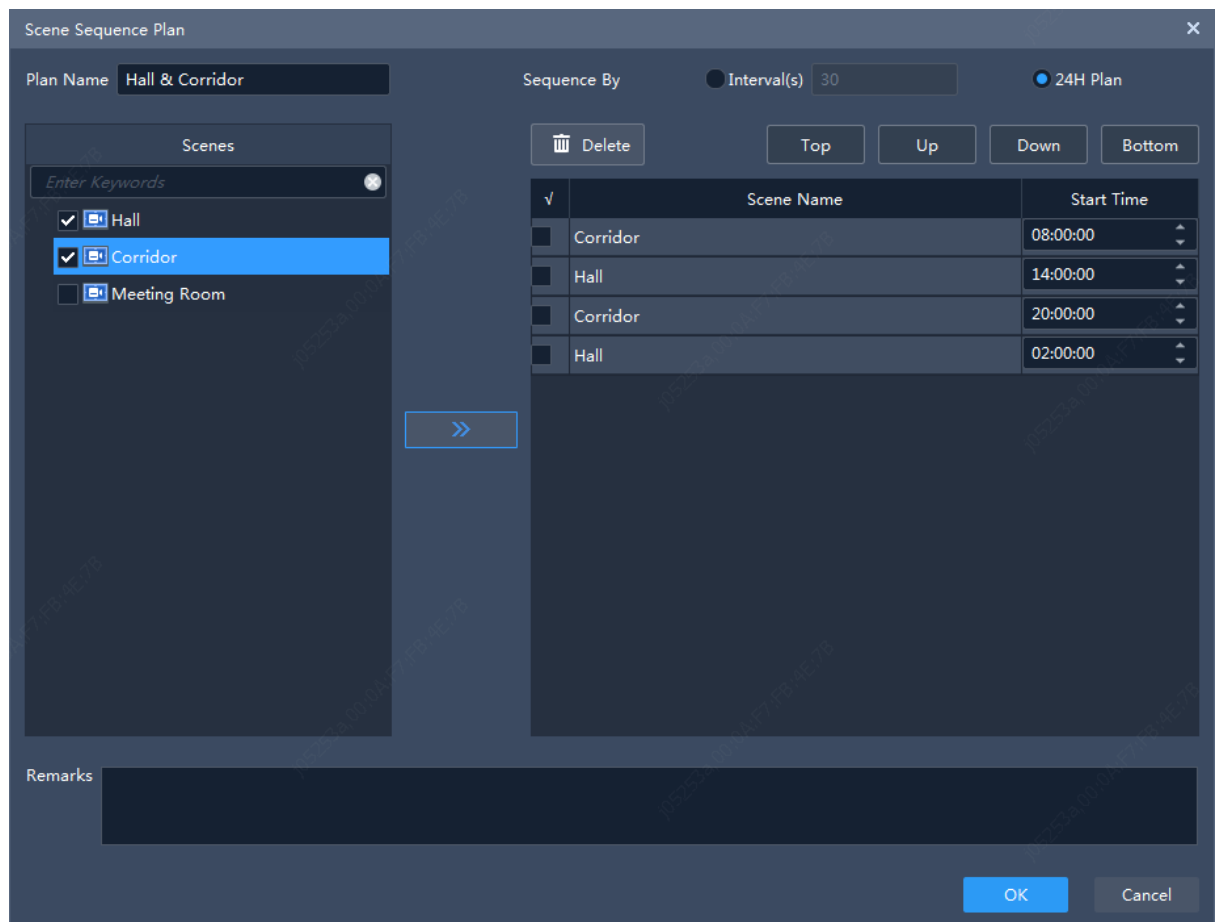
2. Scene Plan タブで  をクリックすると、シーンシーケンスプランが作成できます。



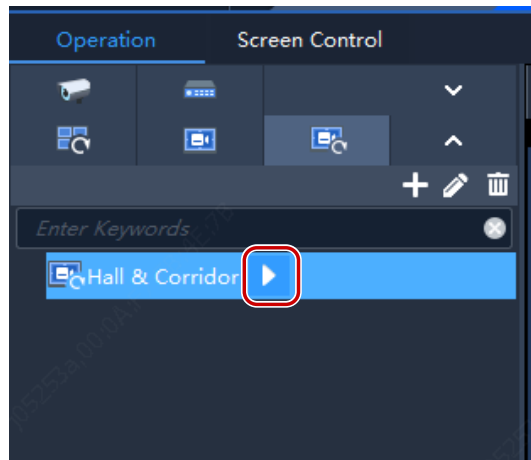
3. シーンを選択してプランにインポートします。



4. シーケンスモードを設定します。時間間隔でシーケンスするか、24 時間シーケンスプランを設定するかを選択できます。
- 時間間隔によるシーケンス：設定された時間間隔（上図の例では 30 秒）でシーンを 1 枚ずつ表示します。
 - 24 時間プラン：プランを有効にしてから開始時間を設定します。設定した時間になると、ビデオウォールにシーンが自動的に表示されます。必要に応じてシーンを繰り返し追加できます。



5. シーンシーケンスプランは **Scene Plan** タブに表示されます。**Start** をクリックするとシーンシーケンスが始まります。



その他のビデオウォールの操作

その他のビデオウォールの操作については下表を参照してください。

図7-1 ビデオウォールコントロール



ツールバーのボタンは、ビデオウォールのすべてのウィンドウで有効です。

番号	説明
A	シーンを保存する。詳しくは シーケンスシーン をご覧ください。
B	シーンを結合する（2枚以上の画面を組み合わせることで1枚の大きな画面を作成する）
C	全部のウィンドウでデコードを開始する。
D	全部のウィンドウでデコードを停止する。
E	クリックすると、上から下、左から右へ、位置に応じて全部のウィンドウに番号が付け直される。








ウィンドウコントロール領域。この領域のボタンは、選択したウィンドウのみで有効です。

番号	説明
F	画面を分割する。
G	デコーディングを開始する。
H	デコーディングを中止する。
I	全画面モードでウィンドウが表示される。
J/K/L	現在のカメラ、ストリームタイプ、プリセット（PTZカメラのみ）。
M	録画の検索と再生。
N	ウィンドウコントロール領域の表示/非表示。

DX ビデオウォールでは以下の機能も使用できます。

- 仮想 LED。ビデオウォールウィンドウにテキストをオーバーレイして背景に設定し、テキストのコンテンツ、サイズ、スペース、配列、透明度、スクロールをカスタマイズできます。

-  : 2 枚以上のウィンドウを重ねる場合、デフォルトでは、選択したウィンドウが一番上に表示されます。ウィンドウが一番下に表示されるよう設定するにはこのボタンをクリックします（もしくは、ウィンドウを右クリックし、ショートカットメニューから選択します）。
-  : ウィンドウの位置と形状をロックします（もしくは、ウィンドウを右クリックし、ショートカットメニューから選択します）。 をクリックするとアンロックされます。
-  : このボタンをクリックすると、選択したウィンドウが全画面表示になります（もしくは、ウィンドウを右クリックし、ショートカットメニューから選択します）。 をクリックすると復歸します。
- ウィンドウ情報の表示：ウィンドウまたは画面を右クリックし、**Window Info** を選択すると、ウィンドウ ID、分割画面 ID、ストリーム状態などの情報が表示されます。
- 一部の DX ビデオウォールでは、ウィンドウをダブルクリックすると拡大され、再度ダブルクリックすると元の大きさに復歸します。

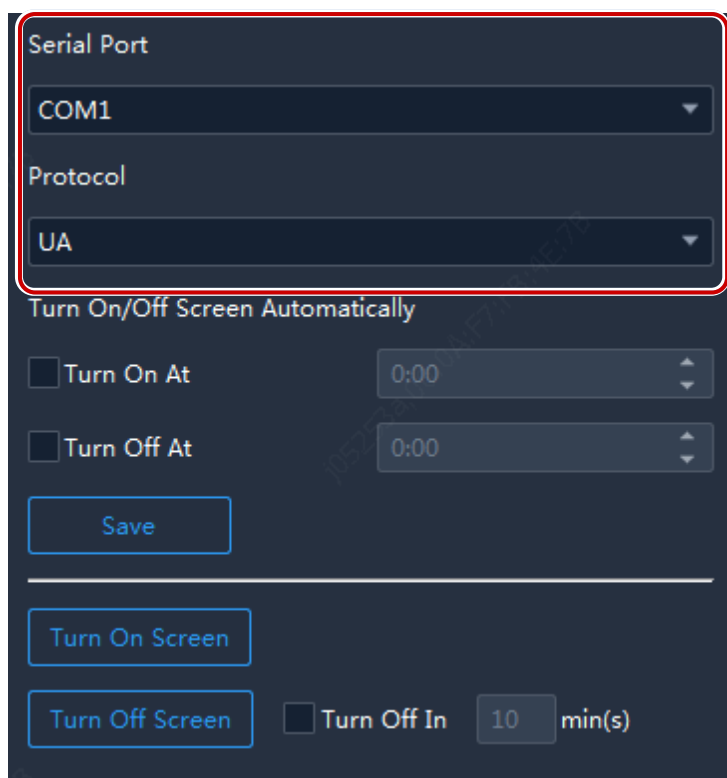
画面コントロール

Screen Control タブで小ピクセルピッチ LED 画面などの画面をオン/オフできます。

クライアントで操作する前に、画面、配電盤（LED 画面用）、サーバーが適切に接続されていること確認してください。

シリアルポートとプロトコルの設定

デコーディングデバイスモデルと画面タイプに応じて、シリアルポートとプロトコルを設定します。



Serial Port

COM1

Protocol

UA

Turn On/Off Screen Automatically

☐ Turn On At 0:00

☐ Turn Off At 0:00

Save

Turn On Screen

Turn Off Screen ☐ Turn Off In 10 min(s)

設定した時間に自動的に画面をオンまたはオフにする

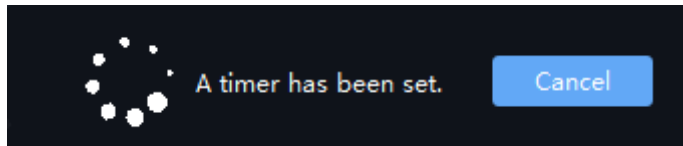
1. Turn On At または Turn Off At を選択し、自動的に画面をオンまたはオフにする時間を設定します。
2. Save をクリックします。設定した時間に自動的に画面がオンまたはオフになります。

手動で画面をオンまたはオフにする

1. Turn On Screen をクリックします。直ちに画面がオンになります。
2. Turn Off Screen をクリックします。直ちに画面がオフになります。

一定時間後に画面をオフにする

1. Turn Off In のチェックボックスを選択し、テキストボックスに時間を記入します。
2. Turn Off Screen をクリックします。
3. 下のようなメッセージが表示されます。タイマーが時間切れになると画面が自動的にオフになります。



8 行動検索

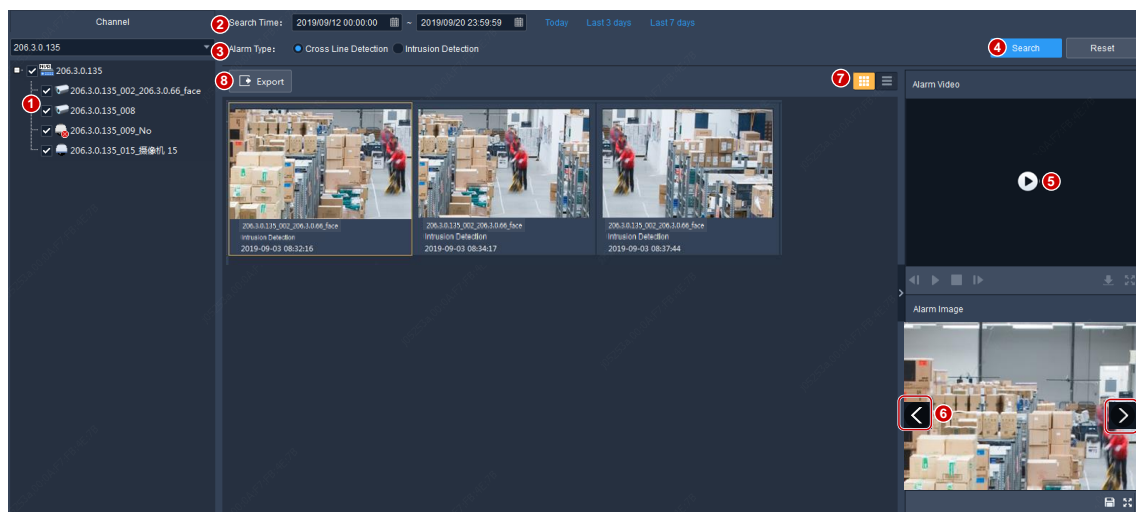
NVR で VCA 画像と録画を検索します。



ヒント！

この機能は特定の NVR デバイス/バージョンで利用できます。現在、この機能はライン横断検知と侵入検知でのみ使用できます。

1. 画像で説明されている指示に従ってください。



2. 必要に応じて以下の操作を実行します。
 - アラームビデオ（5）を再生またはダウンロードします。アラームビデオの長さは 10 秒です（アラーム時間前の 5 秒とアラーム時間後の 5 秒）。
 - アラーム画像（6）を表示または保存します。左または右向きの矢印をクリックすると、前または次の画像が表示されます。
 - （7）をクリックするとリストモードに切り換わります。
 - （8）をクリックすると検索結果がエクスポートされます。

9 顔認識

ライブビデオとリアルタイム顔認識アラームを表示します。デバイスの顔ライブラリと監視タスクを管理します。

リアルタイム監視

指定のカメラで取得された顔のライブ画像とスナップショットを表示します。取得された顔や監視目的でライブラリに保存された顔など、アラームの録画や詳細を表示します。

1. カメラをダブルクリックすると、ライブビューが開始し、顔のスナップショットが表示されます。カメラは4台まで許可されます。

The screenshot displays the 'Realtime Monitoring' interface. On the left, a 'Video Channel' tree lists various cameras, with '206.3.0.134_001' selected and marked with a red circle '1'. The main area shows a live video feed of an airport scene. On the right, a 'Snapshots' panel shows two captured face images, with the top one marked with a red circle '2'. Below the video feed, a 'Comparison' section shows two face images with a 50% match percentage. To the right of this is an 'Alarm Records' table.

Alarm Time	Name	ID No.	Match	Alarm Source
2019-09-20 12:03:23	Target A	3088XXXXXXXXXXXXXXX	56%	206.3.0.135_002_206.3.0.66_face
2019-09-20 12:03:18			47%	206.3.0.135_002_206.3.0.66_face
2019-09-20 12:03:15	Target B	3088XXXXXXXXXXXXXXX	57%	206.3.0.135_002_206.3.0.66_face
2019-09-20 12:03:12			46%	206.3.0.135_002_206.3.0.66_face
2019-09-20 12:03:11			41%	206.3.0.135_002_206.3.0.66_face
2019-09-20 12:03:07	Target C	3088XXXXXXXXXXXXXXX	49%	206.3.0.135_002_206.3.0.66_face
2019-09-20 12:03:04			45%	206.3.0.135_002_206.3.0.66_face

2. スナップショットをクリックすると、顔を含むオリジナルスナップショットなど詳細が表示されます。
3. リアルタイム顔認識アラームを表示する。録画をクリックすると、それに対応する顔比較結果が表示されます。**Show Details** をクリックすると、詳細情報が表示されます。取得した顔とライブラリ内の顔の一致度が、設定したアラームしきい値に達した場合にのみ、個人情報が表示されます。詳しくは[監視タスク](#)をご覧ください。



ヒント！

デバイスは、対応する監視タスクが設定されている場合にのみ、アラームをレポートします。

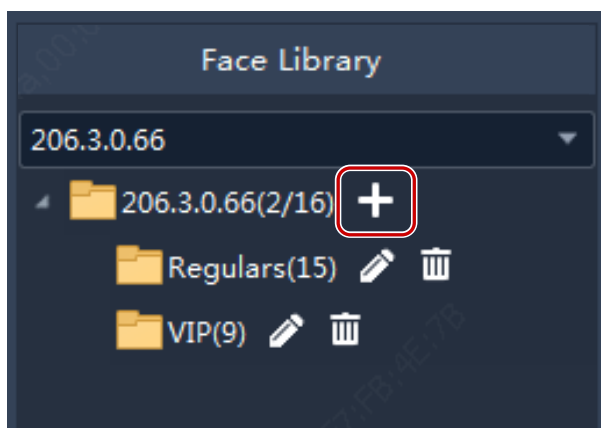
顔ライブラリの管理

異なる管理ニーズに対応できるように、各種ライブラリの顔を管理します。ライブラリはデバイスに保存されます。

顔ライブラリの作成

管理したいデバイスを選択すると、リストに、そのデバイスの顔ライブラリが表示されます。

+ をクリックすると新しい顔ライブラリが作成できます。ライブラリ名を編集したり、不要になったライブラリを削除できます。

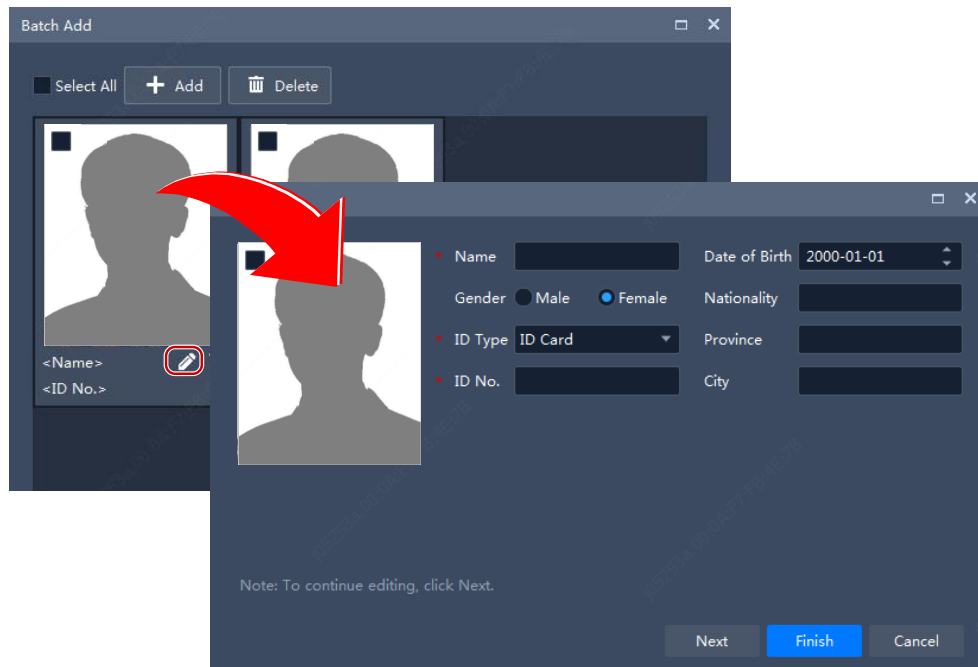


顔データを追加

次のいずれかの方法で、顔ライブラリに顔データを追加します。

オプション 1：一括追加の使用

1. **Batch Add** をクリックし、ターゲット顔ライブラリを選択します。別々のデバイスから 2 種類以上のライブラリを選択できます。
2. **Add** をクリックし、追加したい顔画像を選択します。画像は 512KB 以下の JPG ファイルでなければなりません。
3. 編集ボタンをクリックして個人情報を入力します。

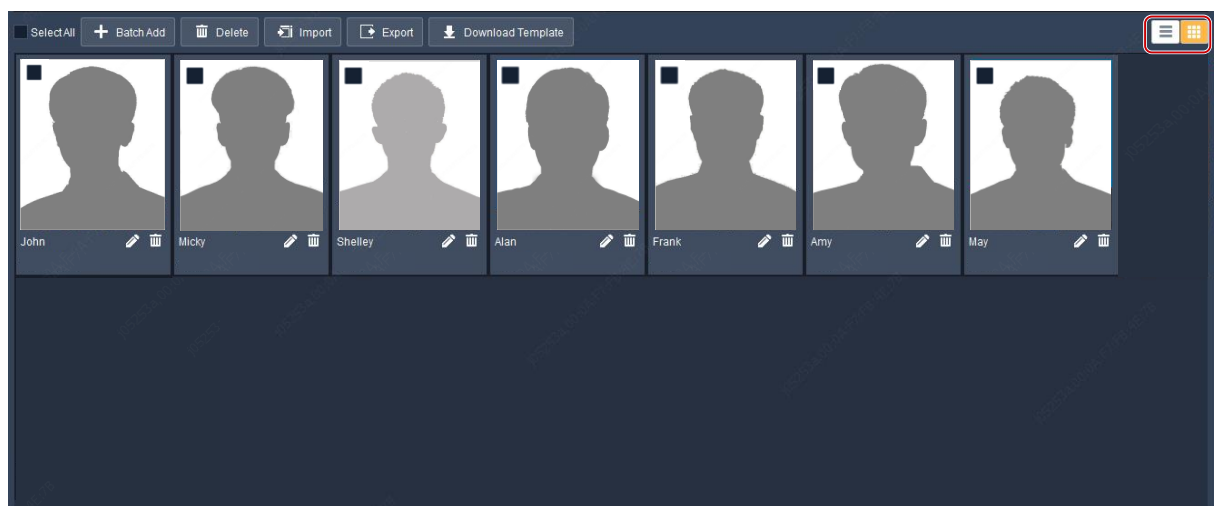


4. **Next** をクリックすると保存されて次の画像に進みます。もしくは **Finish** をクリックします。
5. すべての顔情報を入力したら **OK** をクリックします。

オプション2：顔データを含むファイルをインポートする

必要な顔データを含むファイルをインポートします。ファイルとそのコンテンツは特定のフォーマット条件を満たしている必要があり、各画像の大きさは 512KB 以下でなければなりません。

1. **Download Template** をクリックし、テンプレートファイルに顔データを入力します。
2. **Import** をクリックし、編集済みファイルを選択します。リストに、インポートされたデータが表示されます。リストの右上のボタンをクリックすると、ディスプレイモードが切り換わります。

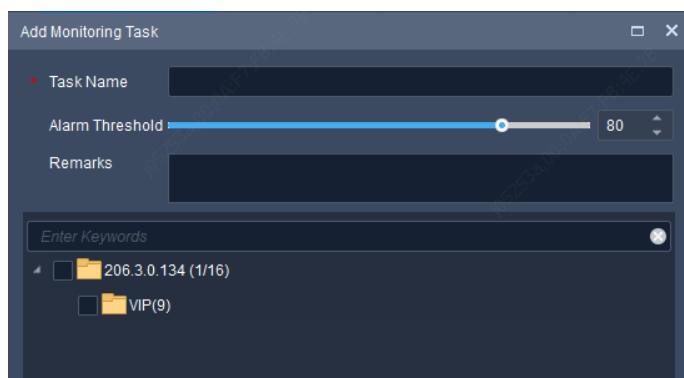


3. 必要に応じて顔データを編集または削除します。 **Export** をクリックすると、CSV ファイルに、現在のライブラリの顔データが保存されます。





監視タスク

作成した顔ライブラリを、監視に使用します。デバイスは、取得した顔を監視対象の顔と比較して、アラームを発します。

1. 左で監視用のカメラを選択し、**Add** をクリックして監視タスクを作成します。
2. タスク名を設定し、監視したい顔ライブラリを選択します。ニーズに基づいてアラームしきい値を設定します。
 - 取得した顔と監視ライブラリの顔との類似性（または **Realtime Monitoring** ページの **Match**）がしきい値に達すると、デバイスは顔認識一致アラームを発します。
 - しきい値に達しない場合は、デバイスは、顔認識不一致アラームを発し、**Realtime Monitoring** ページに個人情報は表示されません。



3. **OK** をクリックします。リストに、新規作成されたタスクが表示されます。NVR チャンネルの場合、同一 NVR の他のチャンネルに監視タスクをコピーできます。

<div><div>+ Add</div><div>🗑 Delete</div><div>📄 Copy To</div></div>					
✓	Task Name	Alarm Threshold	Remarks	Face Library	Operation
■	Monitoring	82	2	Regulars	 
■	Monitoring 2	75	2	VIP	 

10 人数カウント

特定の期間内に入退出した人数のカウント。



ヒント！

この機能を実行するには、NVR を介して、人数カウントが可能なカメラがパソコンに接続されている必要があります。

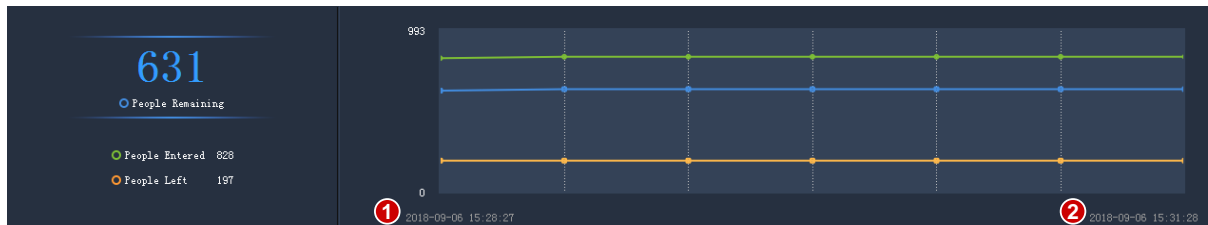
コントロールパネルで **People Counting** をクリックします。**People Counting** ページには次の 2 個のタブが表示されます。

- リアルタイム統計：最新の 7 個の結果を含む選択したカメラのカウント結果が、リアルタイムで表示されます。
- レポート統計：棒グラフまたは折れ線グラフでカウント結果が表示され、エクスポートされます。

リアルタイム統計

Realtime Statistics タブで、リアルタイム統計を有効にしたいカメラのチェックボックスを選択します。カメラをダブルクリックするとそのカメラでライブビデオが開始します。

- リアルタイム統計を有効にすると、選択したカメラのリアルタイムカウント結果が表示されます。



統計の内容：

- リアルタイムカウント結果（左側）：2 台以上のカメラが選択されている場合、その総数が表示されます。カウントタイプの種類は 3 色で表示され、各色は右側の座標の線の色と一致します。
- 直近の 7 個のカウント結果（右側）：X 軸は時間、Y 軸は人数（デフォルトでは最小値が 0、最大値が 10 ですが、実際のカウント結果に応じて更新されます）。

リアルタイム統計が有効になっている場合、カウントの最初の時間が X 軸の左下に表示され (1)、カウント結果が Y 軸に表示されます (例：993)。結果は定期的に更新され、直近の結果が右に表示されます (2)。





ヒント！

People Counting ページを閉じるか、システムからログアウトすると、ライブビューとリアルタイム統計が自動的に停止します。

レポート統計

Report Statistics タブでカメラを選択してから **Today** **Last 7 days** **Last 30 days** をクリックすると、直接カウントされます。または、最初に次の条件を設定します。

- カウントのタイプ：1分ごと、1時間ごと、1日ごとまたは1か月ごと。
- カレンダーで選択するか、所定欄に記入して期間を設定します。
- チェックボックス ☒ People Entered ☐ People Left ☐ を選択して、進入または退出する人数をカウントします。
-   をクリックすると、折れ線グラフまたは棒グラフに結果が表示されます。

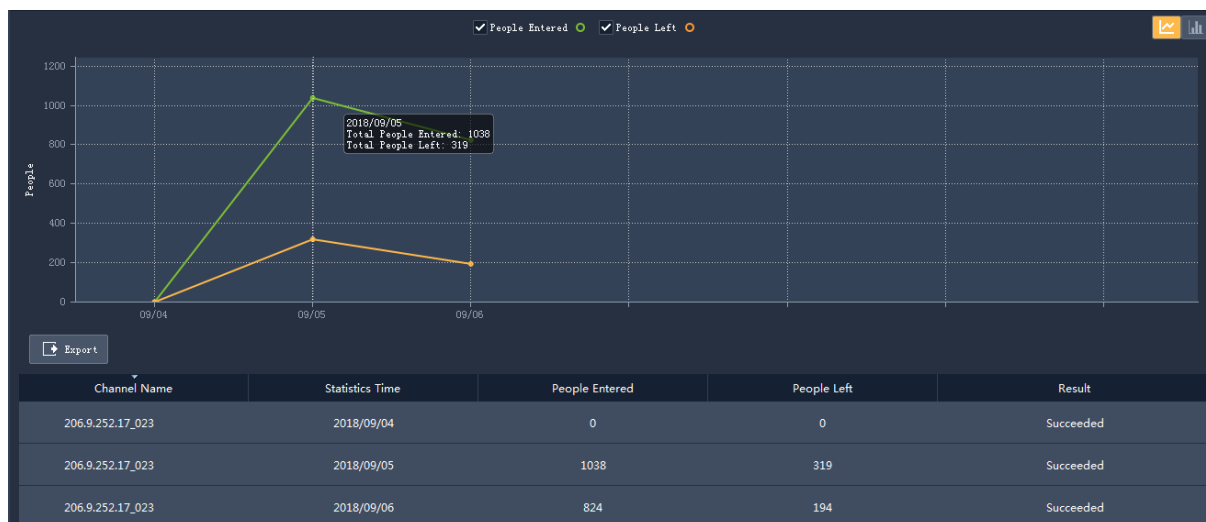


ヒント！

最長期間は選択した単位（分、時間、日、月）x 60 です。たとえば、月を選択した場合は最長期間が 60 か月で、日を選択した場合は最長期間が 60 日です。

Count をクリックすると結果が表示されます。

- 線や列にカーソルを置くと、その時点での数字が表示されます。
- 列のタイトル（People Entered または People Left）をクリックすると、昇順または降順に結果を並べ替えることができます。





をクリックすると棒グラフに表示されます。




Export をクリックすると、パソコンに CSV ファイルとして統計がエクスポートされます。Microsoft Office Excel でファイルを開くことができます。

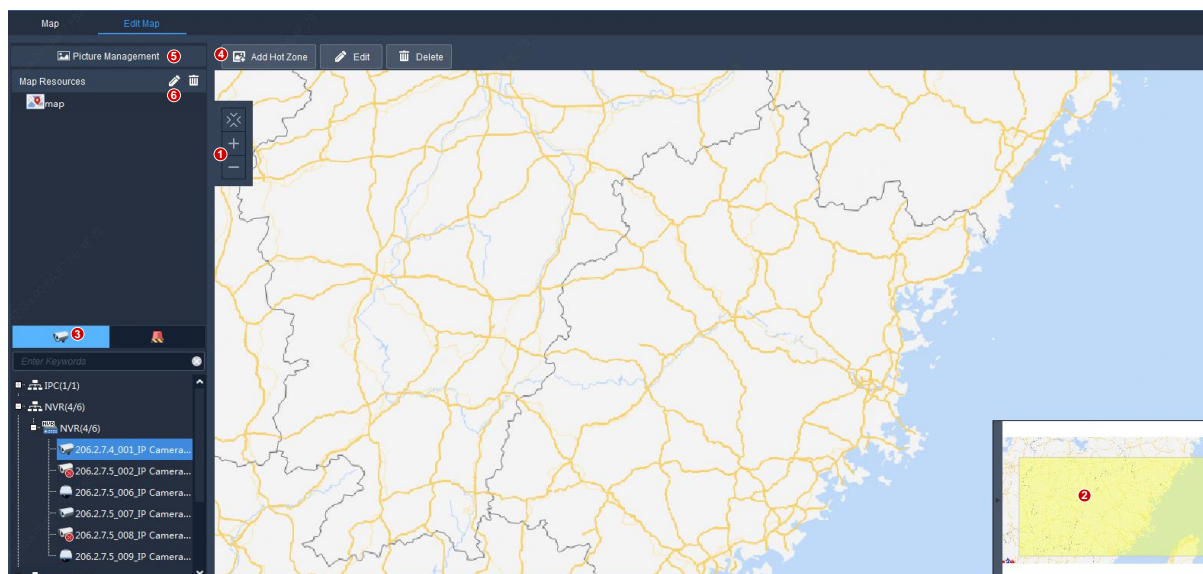
11 E マップ

まず **Edit Map** タブで設定を完了し、次に **Map** タブでマップを使用します。



- ホットスポット：マップに追加されたビデオチャンネルまたはアラーム入力チャンネルです。ライブビューと再生はビデオチャンネルのみで利用できます。
- ホットゾーン：マップ内のマップです。ホットゾーンにホットスポットを追加できます。

マップの設定

コントロールパネルで **E-map** をクリックし、 をクリックします。PNG、BMP、JPEG の各画像のみが許可されます。追加されたマップは、左のページと **Map Resources** リストに表示されます。



以下の操作が可能です。

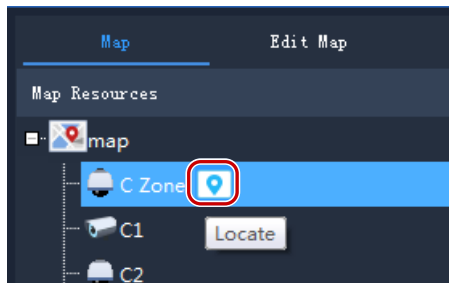
- マップのスケールの変更：スクロールホイールを使用するかズームボタン（1）をクリックして、マップを縮小または拡大します。
- イーグルアイ：マップの黄色の範囲（2）でドラッグすると、マップに細部が表示されます（もしくはマップを直接ドラッグします）。
- ホットスポット（3）の追加：  でカメラをマップ上の希望の位置にドラッグします。 でのアラーム入力追加と同じ方法を使用します。ホットスポットを右クリックすると、色を変更したり、マップからホットスポットを削除できます。
- ホットゾーン（4）の追加： **Add Hot Zone** ボタンをクリックすると、マップにマップが追加されます。7 層までマップが追加できます。ホットゾーンを右クリックすると、色を変更したり、マップからホットゾーンを削除できます。
- 画像の管理（5）：マップを追加または削除します。マップを削除すると、その中のホットスポットとホットゾーンもすべて削除されます。
- マップリソースの編集（6）：マップ名を編集して、ホットゾーンのアイコンの色を変更します。

マップの操作

設定を完了したら、**Map** タブをクリックするとマップが使用できます。ホットスポットでライブビューを表示したり、アラームを処理できます。

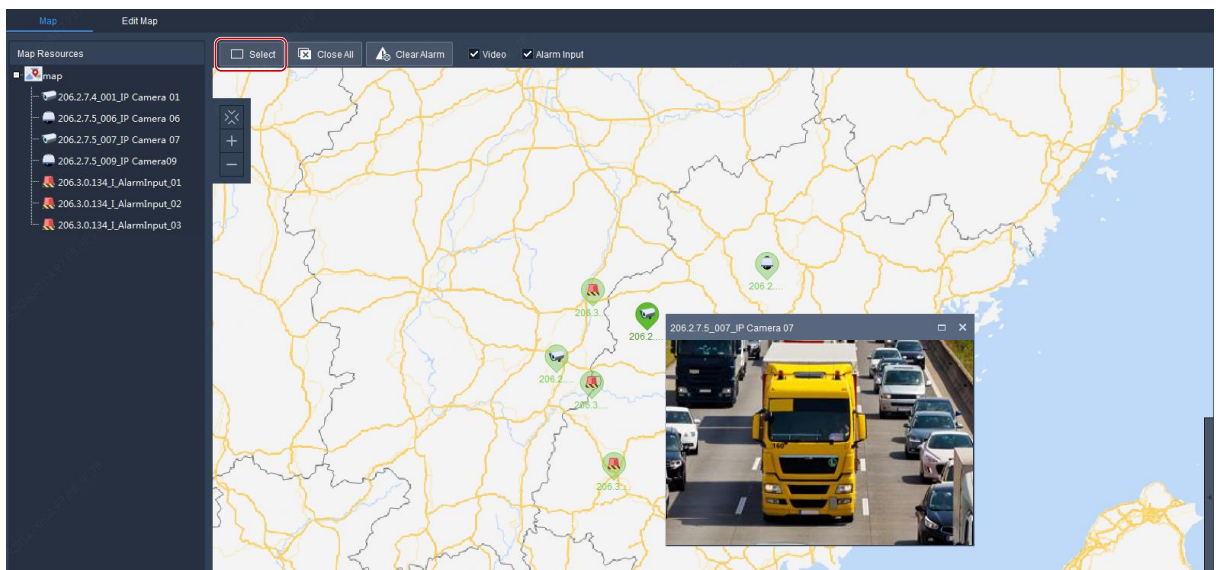
マップ上でホットスポットやホットゾーンを見つける

Locate ボタンをクリックするとマップ上でホットスポットやホットゾーンを見つけることができます。

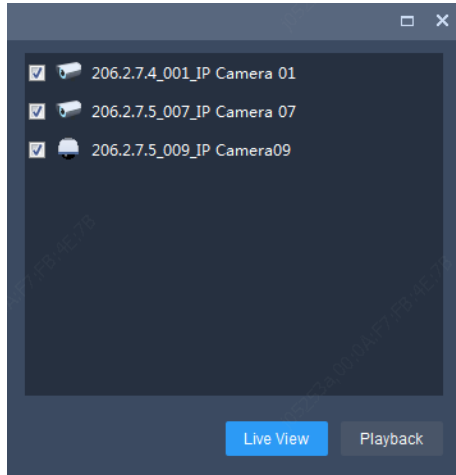


ホットスポットでライブビデオを表示する

マップ上でビデオチャンネルのホットスポットをダブルクリックすると、ホットスポットでライブビデオが表示されます。カメラは 4 台まで許可されます。必要に応じてウィンドウツールバーを使用します。



Select ボタンをクリックし、マップ上をドラッグしてホットスポットを選択します。選択したホットスポットで、ライブビデオや録画済みビデオを再生できます。



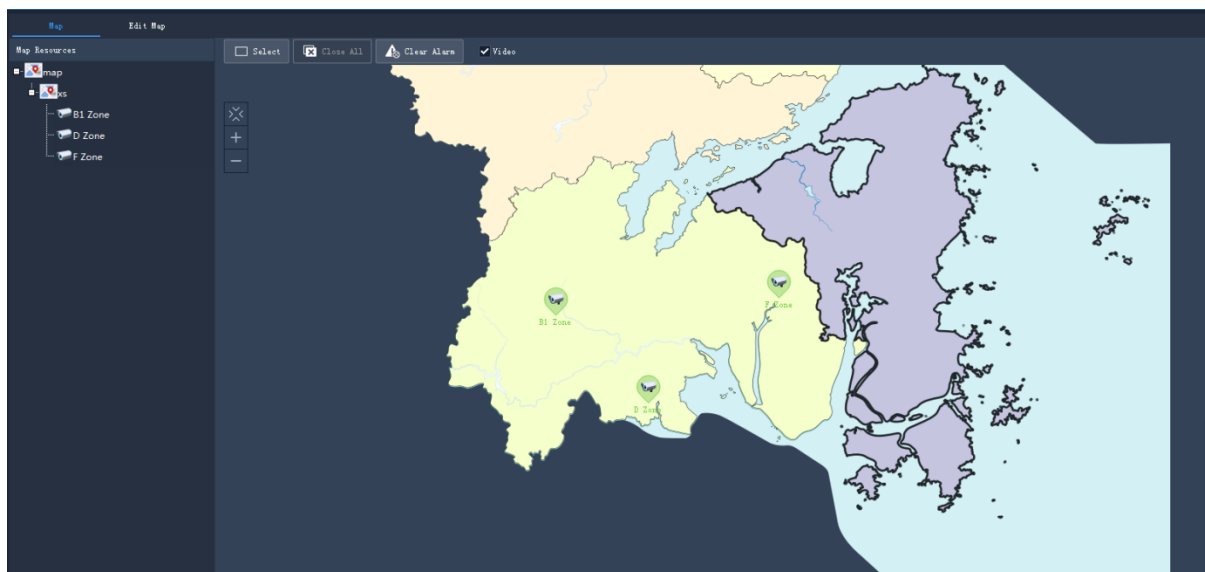
アラームの処理

アラームが発生すると、マップ上で、それに対応するホットスポットが点滅します。ホットゾーン内にホットスポットがある場合、そのホットゾーンが赤で点滅します。ホットスポットを右クリックするとライブビデオや録画済みビデオを再生したり、アラーム情報を表示したり、アラームをクリアできます。



ホットゾーンの表示

ホットゾーンを表示するには、左の **Map Resources** リストでホットゾーンマップをクリックするか、マップのホットゾーンアイコンをダブルクリックします。




Map Resources リストでメインマップをクリックすると、元に戻ります。

12 音声

音声サービスには、音声、双方向音声、ブロードキャストなどがあります。双方向音声は、音声またはブロードキャストと同時に動作しません。すなわち、双方向音声を起動すると音声またはブロードキャストが停止し、音声またはブロードキャストを起動すると双方向音声は停止します。

注意： Mac OS システムではブロードキャストは利用できません。

音声

ライブビデオの再生中にウィンドウツールバーで  をクリックすると、カメラの音声は起動します。この音声はカメラからパソコンへの一方向音声で、ライブビデオを閉じるとこの音声も停止します。

注意： 別のカメラで音声を起動すると、現在のカメラの音声は停止します。

双方向オーディオ

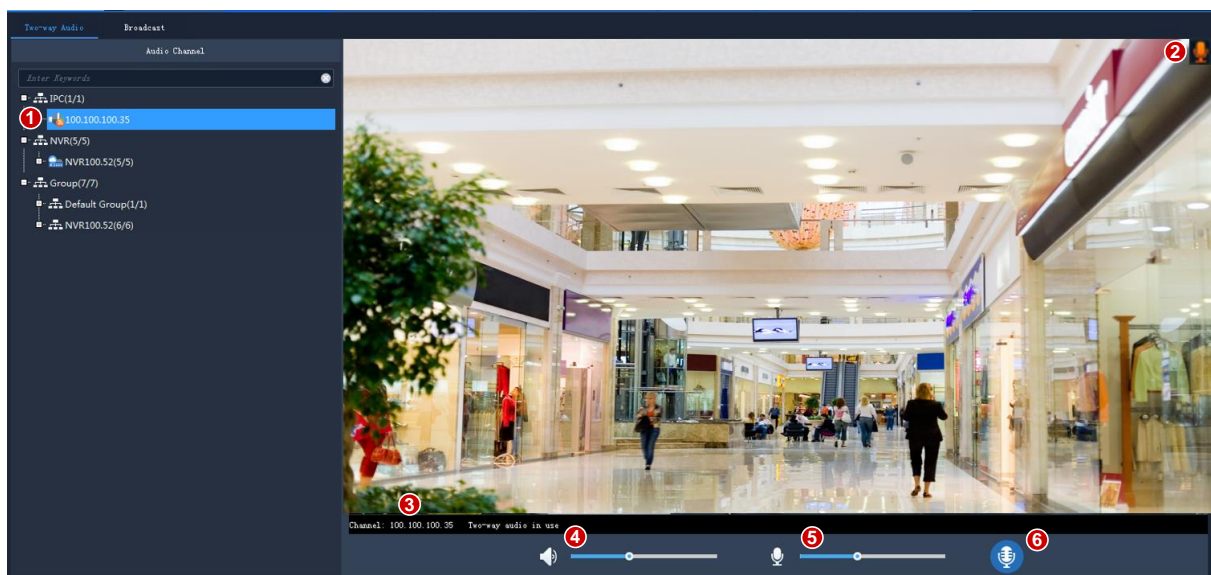
双方向音声はデバイス（カメラや NVR）とパソコンとの間の音声通信です。デバイスとパソコンの両方が、音声入出力デバイスに接続されている必要があります。

注意：双方向音声は一度に 1 台のデバイスのみで使用できます。


カメラとの双方向音声

カメラをダブルクリックするか、右のウィンドウにカメラをドラッグします。双方向音声起動すると、音声チャンネル記号が変化し（1）、ウィンドウの右上で双方向音声記号が点滅し（2）、双方向音声が使用中であることを示すヒントが表示されます（3）。

双方向音声の使用中に音量を調整したり（4）（5）、双方向音声を停止できます（6）。

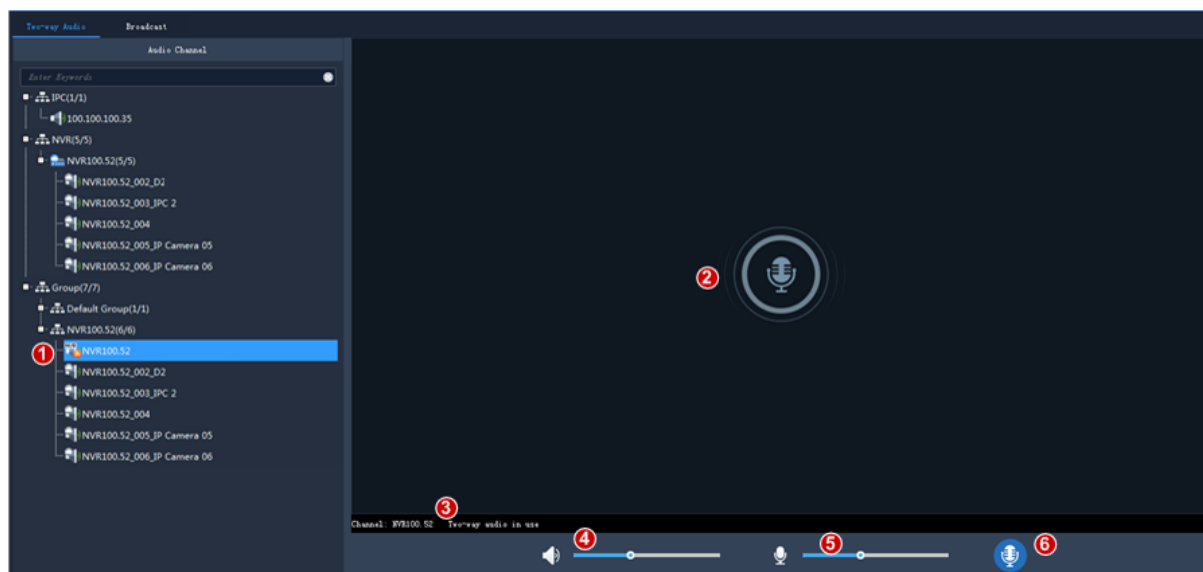


ヒント！

また、ライブビューウィンドウで  をクリックすると、カメラとの双方向音声を開始できます。

NVR との双方向音声

Two-way Audio タブで NVR をダブルクリックするか、右のウィンドウに NVR をドラッグします。双方向音声起動すると、音声チャンネル記号が変化し（1）、ウィンドウの中央に双方向音声記号が表示され（2）、双方向音声が使用中であることを示すヒントが表示されます（3）。双方向音声の使用中に音量を調整したり（4）（5）、双方向音声を停止できます（6）。




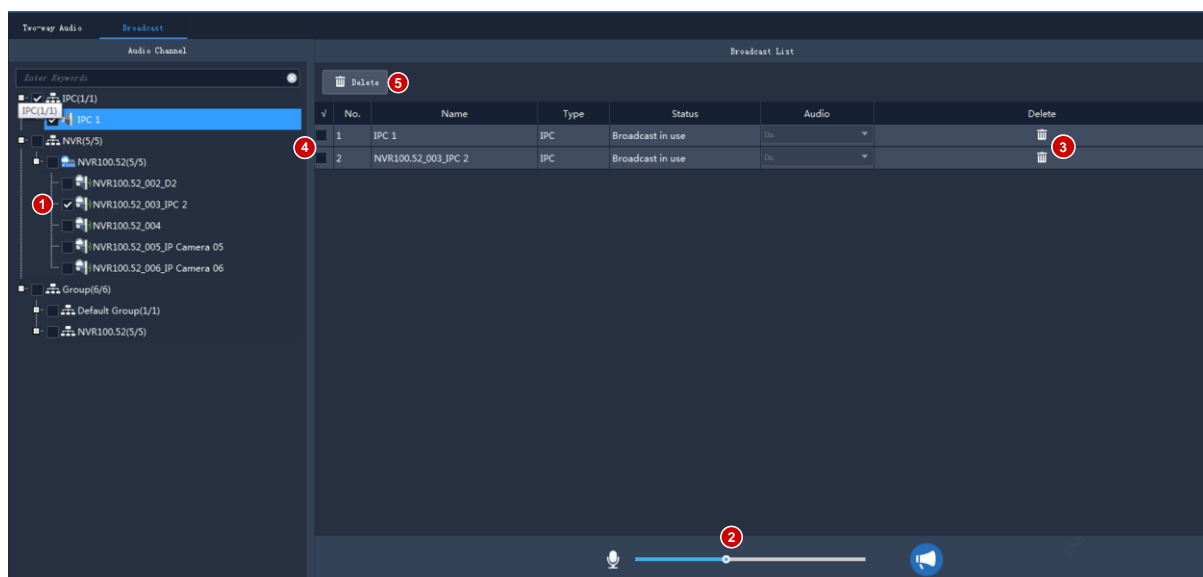
ブロードキャスト

ブロードキャストはパソコンからカメラへの一方向音声です。






Broadcast タブをクリックします。左のリストで音声チャンネルを選択します。以下の操作が可能です。

- 音声チャンネルを 1 個ずつ選択します。
- NVR または組織を選択して、その下の音声チャンネルをすべて選択します。

選択した音声チャンネルは、右のブロードキャストリストに自動的に追加されます。チャンネルがすべて追加され、 をクリックをクリックする、ブロードキャストが起動します。



ブロードキャスト中に実行できること：

- 左のリスト（1）から選択してさらに音声チャンネルを追加する。これらのチャンネルでブロードキャストが自動的に開始されます。
- 音声の音量（2）を調整します。もしくは  をクリックするとマイクがオフになります。
- ブロードキャストリストから音声チャンネルを削除する。  （3）をクリックすると
1 チャンネルずつ削除され、チェックボックス（4）を選択して  （5）をクリックすると一括削除されます。  をクリックすると、ブロードキャストリストの全チャンネルが選択されます。
- ブロードキャストを中止する：  をクリックするか、**Audio** ページを閉じます。



ヒント！

現在、NVR ではブロードキャストは利用できません。

13 アラームの設定

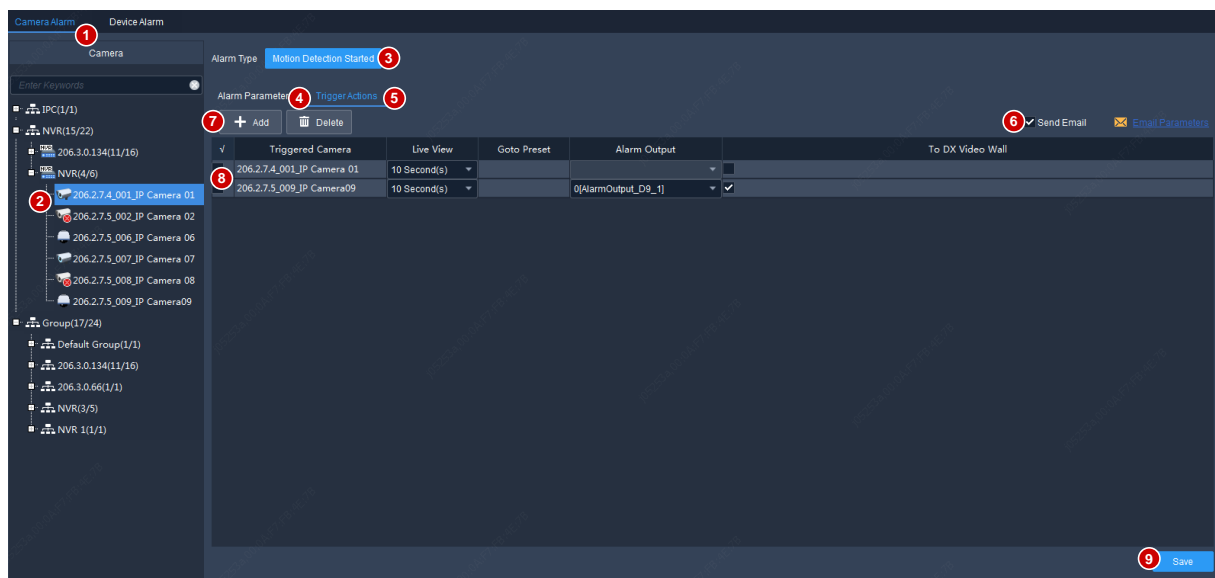
特定のソースで特定の形式のアラームが発生したときに起動するアクション（アラーム録画を表示する、アラームを処理する）を設定します。

アラーム起動型アクションの設定

アラームの設定には、アラームソース、アラームタイプ、リンク先デバイス、起動元アクションなどの設定があります。

コントロールパネルで **Alarm Configuration** をクリックし、手順に従います。

例：



1. 設定したいアラームタイプに対応するタブをクリックします。ここでは **Camera Alarm** を例に取り上げます。
 - カメラアラーム：カメラオンライン/オフライン、イベントアラーム、VCA アラーム。
 - デバイスアラーム：デバイスオンライン/オフライン、ディスクオンライン/オフライン。
2. アラームソースを選択します。アラームソースによって、設定したアクションが起動します。
3. アラームタイプを選択します。指定された形式のアラームによって、設定されたアクションが起動します。顔認識一致・不一致アラームを選択した場合、監視タスクが設定されていることを確認してください（[監視タスク](#)を参照のこと）。
4. アラームパラメータの設定


特定のアラームタイプ（動体検知、改ざん検知、アラーム入力、音声検知、侵入検知、クロスライン検知、顔検知、デフォーカス検知、物体放置検知、物体除去検知）では、まず、**Configuration** をクリックして、デバイスの Web インターフェイスにアクセスして、設定を完了します。動体検知を例にとると、動体検知が有効になっていて、検知エリアが指定され、監視スケジュールが設定されていることを確認する必要があります。
5. **Trigger Actions** タブをクリックします。
6. アラーム発生時にメールでアラートを受信するには、チェックボックスを選択し、メール設定を完了します（[クライアントの設定](#)を参照のこと）。
7. **Add** をクリックします。ダイアログボックスが現われます。リンクしたいデバイスを選択し、**OK** をクリックします。リンクされたデバイスがリストに表示されます。指定のアラームソース（ステップ 1）で指定のタイプのアラーム（ステップ 2）が発生すると、デバイスが起動して指定のアクションが実行されます。
8. 起動させたいアクションを設定します。
 - アラーム起動型ライブビュー：アラームによってポップアップウィンドウが起動し、カメラからのライブビューが再生されます。
 - アラーム起動型プリセット：アラームが発生すると、プリセットに従って PTZ カメラが回転します。予めリストでプリセットを設定しておく必要があります。

- ・ アラーム起動型出力：アラームが発生すると、カメラがアラームを出力し、それによってサードパーティデバイスによるアクションが起動します。
- ・ アラーム起動型ビデオウォール：アラームによってビデオウォールが起動し、カメラからのライブビューが再生されます。まずビデオウォールの設定を完了する必要があります。1台のカメラのみを選択できます。

9. **Save** をクリックします。



ヒント！

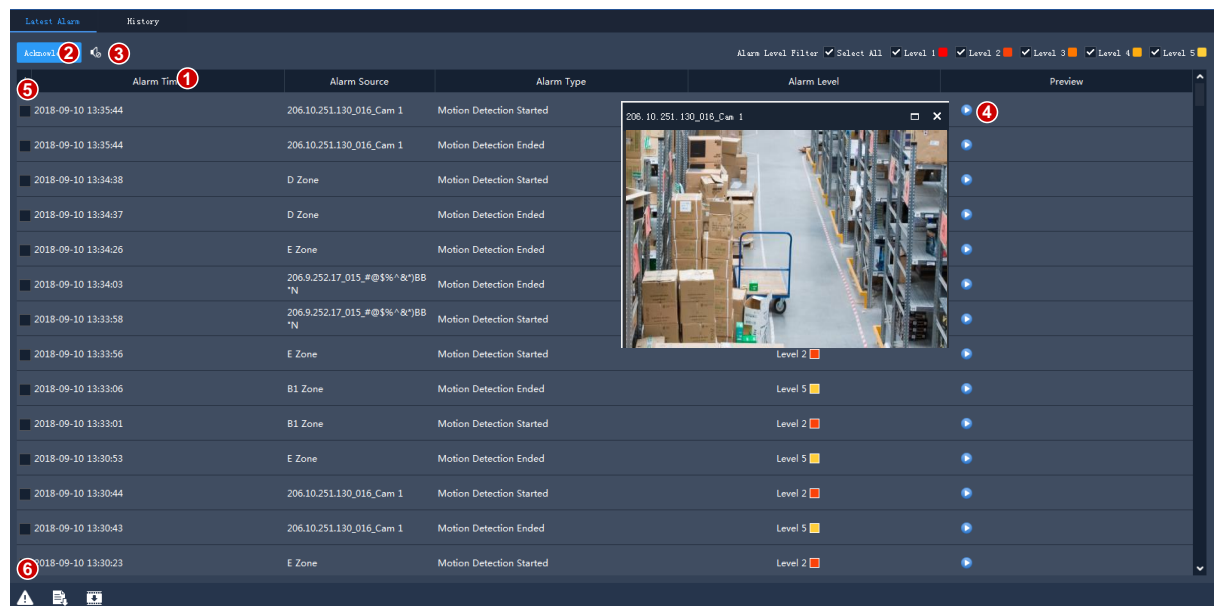
- ・ アラーム起動型ライブビューを有効にするには、GUI 左下の  をクリックし、**Display Link Video** を選択します。
- ・ 2 台以上のカメラからライブビデオを起動すると、パソコンの CPU 使用量が増えて他のサービスに影響が出ることがあります。

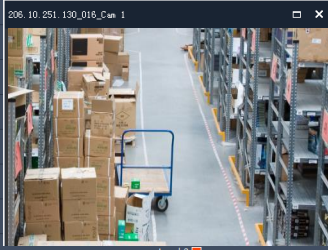
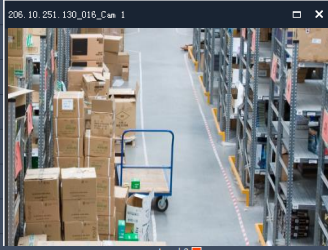
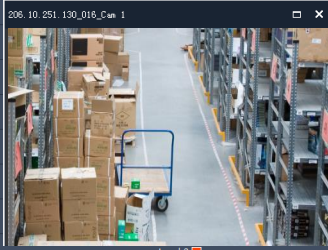
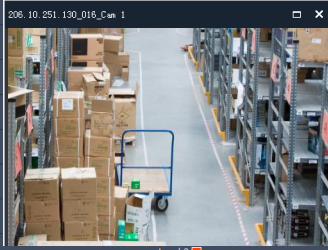
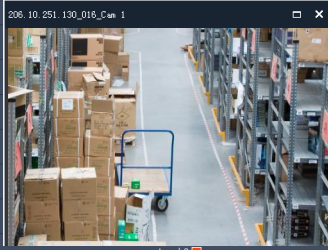
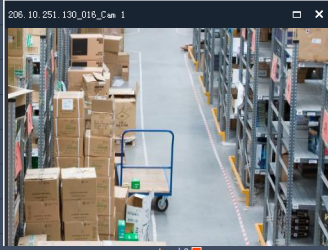
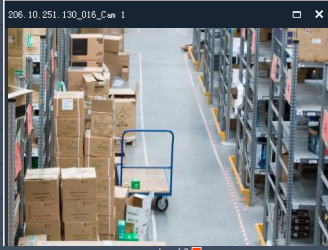
アラーム録画の表示

コントロールパネルで **Alarm Records** をクリックすると、アラーム録画を表示したり、アラームを確認したり、パソコンにアラームデータをエクスポートできます。

直近のアラーム

Latest Alarm タブには、現在のログイン後に発生したアラームが列記され、自動的に更新されます。







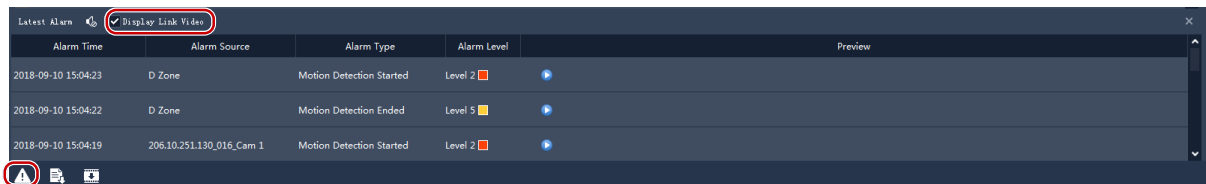
Alarm Time	Alarm Source	Alarm Type	Alarm Level	Preview
2018-09-10 13:35:44	206.10.251.130_016_Cam 1	Motion Detection Started	Level 2	
2018-09-10 13:35:44	206.10.251.130_016_Cam 1	Motion Detection Ended	Level 5	
2018-09-10 13:34:38	D Zone	Motion Detection Started	Level 2	
2018-09-10 13:34:37	D Zone	Motion Detection Ended	Level 5	
2018-09-10 13:34:26	E Zone	Motion Detection Ended	Level 5	
2018-09-10 13:34:03	206.9.252.17_015_#@%&*&#BB *N	Motion Detection Ended	Level 5	
2018-09-10 13:33:58	206.9.252.17_015_#@%&*&#BB *N	Motion Detection Started	Level 2	
2018-09-10 13:33:56	E Zone	Motion Detection Started	Level 5	
2018-09-10 13:33:06	B1 Zone	Motion Detection Ended	Level 5	
2018-09-10 13:33:01	B1 Zone	Motion Detection Started	Level 2	
2018-09-10 13:30:53	E Zone	Motion Detection Ended	Level 5	
2018-09-10 13:30:44	206.10.251.130_016_Cam 1	Motion Detection Started	Level 2	
2018-09-10 13:30:43	206.10.251.130_016_Cam 1	Motion Detection Ended	Level 5	
2018-09-10 13:30:23	E Zone	Motion Detection Started	Level 2	







ヒント：

以下の操作が可能です。

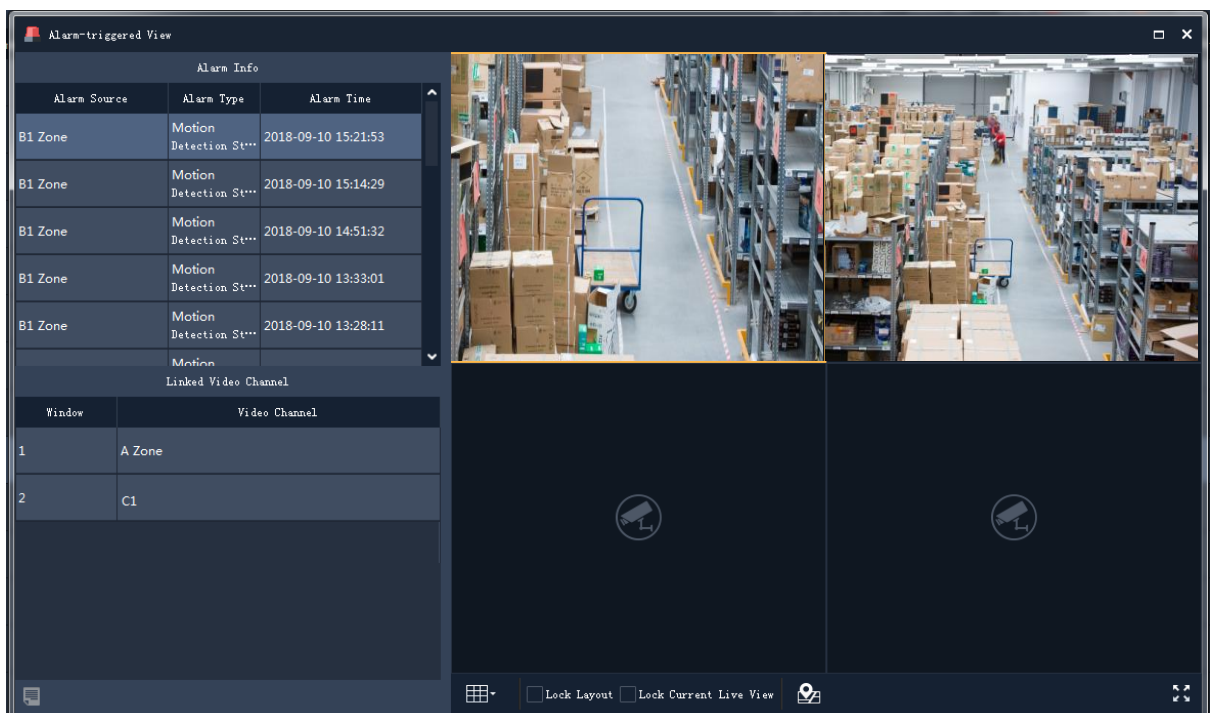
1. ヘッダー（**Alarm Time** など）をクリックすると、録画を昇順/降順で並べ替えることができます。

2. アラームの確認：アラームを選択（ダブルクリック）し、**Acknowledge** をクリックします。確認済みのアラームは **History** タブに移動します。
3.  をクリックするたびにアラームの音がオン/オフします。
4.  をクリックするとアラームビデオが再生されます。アラームビデオの長さは、クライアント設定（**Operation > Alarm > Stop Playback After** と **Start Playback Before**）で設定できます。
5.  をクリックすると、表示されているアラームがすべて選択または選択解除されます。
6. GUI の左下にある **Latest Alarm** ボタン () をクリックします。表示されたページで、アラーム音のオン/オフや、アラーム起動型ライブビデオを有効/無効にする **Display Link Video** の選択/選択解除ができ、録画をダブルクリックすると **Realtime Alarm** タブ全体が表示されます。



Alarm Time	Alarm Source	Alarm Type	Alarm Level	Preview
2018-09-10 15:04:23	D Zone	Motion Detection Started	Level 2 	
2018-09-10 15:04:22	D Zone	Motion Detection Ended	Level 5 	
2018-09-10 15:04:19	206.10.251.130_016_Cam 1	Motion Detection Started	Level 2 	

- アラームが発生すると、アラーム起動型ライブビデオを再生する **Alarm-triggered View** ウィンドウがポップアップ表示されます。



Alarm-triggered View

Alarm Info		
Alarm Source	Alarm Type	Alarm Time
B1 Zone	Motion Detection St...	2018-09-10 15:21:53
B1 Zone	Motion Detection St...	2018-09-10 15:14:29
B1 Zone	Motion Detection St...	2018-09-10 14:51:32
B1 Zone	Motion Detection St...	2018-09-10 13:33:01
B1 Zone	Motion Detection St...	2018-09-10 13:28:11

Linked Video Channel

Window	Video Channel
1	A Zone
2	C1

The main area displays a live video feed of a warehouse aisle with a shopping cart. Below the video feed are two empty video channels, each with a camera icon and a lock symbol.

At the bottom, there are checkboxes for **Lock Layout** and **Lock Current Live View**, along with a full-screen icon.

ヒント：

- ウィンドウツールバーが利用できます（[ライブビューウィンドウツールバー](#)を参照のこと）。
- 画面のロック：これを選択した場合、現在のウィンドウレイアウト（4 ウィンドウレイアウトなど）がロックされ、新たにアラーム起動型ライブビデオが生成されても、このレイアウトは変更されません。
- 現在のライブビューのロック：これを選択した場合、現在のライブビデオは、新しいアラーム起動型ライブビデオと入れ替わりません。
- 設定した再生時間が終わると、ライブビデオは停止します（[アラーム起動型アクションの設定](#)を参照のこと）。アラーム録画の左上部分をダブルクリックすると、もう一度ビデオを再生できます。
- 左下のボタンをクリックすると、アラーム録画ページが開きます。

アラームレベルと、それに対応するアラームタイプ：

アラームレベル	アラームタイプ
レベル1	手動アラーム
レベル2	デバイスオフライン、動体検知起動、アラーム入力起動、クロスライン検知、侵入検知、顔検知、音声検知起動、デフォーカス検知起動、シーン変更検知、自動追跡、改ざん検知起動、ディスク異常、ディスクオフライン、アレイ損傷、アレイ劣化、顔認識一致アラーム、顔認識不一致アラーム、物体放置、物体除去。
レベル3	デバイスオンライン、ディスクオンライン。
レベル4	保留。
レベル5	動体検知終了、アラーム入力終了、自動追跡アラームクリア、音声検知終了、改ざん検知終了、アレイ正常復帰。

履歴アラーム


History タブで、直近のアラームや履歴アラームを含むすべてアラームが復帰できます。

Alarm Time	Alarm Source	Alarm Type	Alarm Level	Alarm Status	Acknowledged By	Acknowledged At	Remarks
2018-09-10 15:35:23	D Zone	Motion Detection Started	Level 2	Not Acknowledged			
2018-09-10 15:35:22	D Zone	Motion Detection Ended	Level 5	Not Acknowledged			
2018-09-10 15:34:58	206.10.251.130_016_Cam 1	Motion Detection Started	Level 2	Not Acknowledged			
2018-09-10 15:34:51	206.10.251.130_016_Cam 1	Motion Detection Ended	Level 5	Not Acknowledged			
2018-09-10 15:34:46	206.10.251.130_016_Cam 1	Motion Detection Started	Level 2	Not Acknowledged			
2018-09-10 15:34:44	206.10.251.130_016_Cam 1	Motion Detection Ended	Level 5	Not Acknowledged			
2018-09-10 15:34:09	206.10.251.130_016_Cam 1	Motion Detection Started	Level 2	Not Acknowledged			
2018-09-10 15:34:08	206.10.251.130_016_Cam 1	Motion Detection Ended	Level 5	Not Acknowledged			
2018-09-10 15:34:03	206.10.251.130_016_Cam 1	Motion Detection Started	Level 2	Not Acknowledged			
2018-09-10 15:33:29	206.10.251.130_016_Cam 1	Motion Detection Ended	Level 5	Not Acknowledged			
2018-09-10 15:33:09	206.10.251.130_016_Cam 1	Motion Detection Started	Level 2	Not Acknowledged			

以下の操作が可能です。

- 検索条件を設定します。**Reset** をクリックすると、検索条件がリセットされます。
- ヘッダー（アラーム時間など）をクリックすると、録画を昇順/降順で並べ替えることができます。
- 1 ページに表示される録画数を選択します。
- 録画をダブルクリックすると詳細が表示されます。**Alarm Time** は、アラームが発生したときのパソコンのシステム時間で、**Device Time** は、アラームが発生したときのデバイスのシステム時刻です。これらの時間は一致しないことがあります。パソコンとデバイスが異なる時間帯に属している場合にも、時間が一致しないことがあります。

Alarm Type	Face Detection
Device Name	206.3.0.134_002_206.3.0.66_002_face
Alarm Time	2019-09-20 10:18:41
Device Time	2019-09-20 10:18:41

- アラームを選択して、**Acknowledge** をクリックし、アラームを確認します。
-  をクリックして、現在のページに表示される録画を選択/選択解除します。
- Export** をクリックすると、パソコンに CSV ファイルとして検索結果がエクスポートされます。Microsoft Excel でファイルを開くことができます。

14 操作ログ

コントロールパネルで **Operation Log** をクリックすると、ログを検索して、パソコンに検索結果をエクスポートできます。ログ情報には、ユーザー名、操作の詳細、結果が含まれます。

The screenshot shows a web interface for viewing operation logs. At the top, there are search filters: Username (empty), Object (Login/Logout), Device Name (empty), Operation (Video Playing), Result (Succeeded), Start Time (2018/9/10 0:00), and End Time (2018/9/11 0:00). There are 'Query' and 'Reset' buttons. Below the filters, there are 'Details' and 'Export' buttons. The main area is a table with columns 'Log Time', 'Username', and 'Log Description'. The table contains 15 entries, all with 'admin' as the username and 'operation result: succeeded' as the result. The log times range from 2018-09-10 15:23:28 to 2018-09-10 15:23:16. At the bottom, there are pagination controls showing '20 Per Page' and '1 / 316'.

Log Time	Username	Log Description
2018-09-10 15:23:28	admin	User admin stop live view, operation result: succeeded
2018-09-10 15:23:28	admin	User admin stop live view, operation result: succeeded
2018-09-10 15:23:28	admin	User admin stop live view, operation result: succeeded
2018-09-10 15:23:28	admin	User admin stop live view, operation result: succeeded
2018-09-10 15:23:20	admin	User admin start live view(C1), operation result: succeeded
2018-09-10 15:23:20	admin	User admin start live view(C3), operation result: succeeded
2018-09-10 15:23:20	admin	User admin start live view(C2), operation result: succeeded
2018-09-10 15:23:18	admin	User admin start live view(A Zone), operation result: succeeded
2018-09-10 15:23:16	admin	User admin stop live view, operation result: succeeded
2018-09-10 15:23:16	admin	User admin stop live view, operation result: succeeded
2018-09-10 15:23:16	admin	User admin stop live view, operation result: succeeded
2018-09-10 15:23:16	admin	User admin stop live view, operation result: succeeded

以下の操作が可能です。

- 検索条件を設定します。**Reset** をクリックすると、検索条件がリセットされます。
- ヘッダー（ログ時間など）をクリックすると、録画を昇順/降順で並べ替えることができます。
- 1 ページに表示される録画数を選択します。
- 録画をダブルクリックすると詳細が表示されます。
- **Export** をクリックすると、パソコンに CSV ファイルとして検索結果がエクスポートされます。

15 クライアントの設定

コントロールパネルで **Client Configuration** をクリックすると、次のパラメータが設定できます。

パラメータ			説明
音声とビデオ	ビデオ	処理モード	<ul style="list-style-type: none"> • 短時間の遅延: ビデオの遅延が最小限になりますが、ビデオの画質は劣化することがあります。 • スムーズ: ビデオのスムージングが優先されますが、ビデオの動きが遅れることがあります。
		ディスプレイモード	お使いのパソコンの表示能力に合わせて設定します。
		ストリーム送信プロトコル	カメラがディスプレイウィンドウにビデオデータを送信する送信プロトコル。設定を変更した場合、次回ソフトウェアを起動したときに新しい設定が有効になります。 注意: <ul style="list-style-type: none"> • TCP はネットワーク状態が不良な場合に推奨されます。 • UDP の場合、ソフトウェアがファイアウォールでブロックされないことを確認してください。
		ショートカット PTZ コントロールの有効化	有効にするとショートカット PTZ コントロールが利用できます。
		VCA ルールの有効化	これを有効にすると、この機能をサポートするカメラのライブビデオに VCA ルールが表示されます。
		GPU モードの有効化	これを有効にすると、ソフトウェアは、さらに多くのカメラでストリーミングを起動できます。 このオプションを有効にすると、サポートされるエンコーディングフォーマット (H.264 や H.265 など) が表示されます。
	スナップショット	スナップショットモード	<ul style="list-style-type: none"> • 自動: 指定のパスを通じて、指定のフォーマットでスナップショットが保存されます。 • マニュアル: このモードでは、保存したいスナップショットを選択し、パスとフォーマットを設定し、備考を記入する (JPEG の場合のみ) ことができます。
		連続スナップショットの間隔	2 枚のスナップショットの撮影間隔です。
		連続スナップショット	1 回に撮影されるスナップショットの枚数。

パラメータ			説明
		スナップショット フォーマット	撮影されたスナップショットがクライアントコンピュータに保存される際のフォーマットを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • BMP：スナップショットを圧縮せずに保存します。JPEG よりも多くのスペースを占有します。 • JPEG：スナップショットを圧縮して画質を落とし、スペースを節約します。
	録画	ローカル録画/ダウンロードされた録画フォーマット	ローカル録画/ダウンロードされた録画のフォーマット：TS および MP4。
システム	スタートアップ	EZStation 3.0 への自動ログインの有効化	これを有効にすると、ソフトウェアを起動した後に、自動的に EZStation にログインされます。 これと同時に Enable Auto Login to Windows を有効にすると、コンピュータが Windows オペレーティングシステムにアクセスした後に、ソフトウェアが自動的に起動します。
		Windows への自動ログインの有効化	これを有効にすると、起動時に、入力したユーザー名とパスワードを使用して、自動的に Windows にログインされます。
	ログ	操作ログ保存期間	操作ログを保存する期間。
		アラームログ保存期間	アラームログを保存する期間。
	メンテナンス	設定のインポート	設定ファイルから設定をインポートします。
		設定のエクスポート	設定をエクスポートしファイルとして保存します。
操作	アラーム	アラーム音の有効化	これを有効にすると、アラームの鳴動時間をカスタマイズしたり、アラームタイプに応じて異なる音を設定できます。
		アラーム前後の再生時間	アラーム発生時の前と後におけるビデオの再生時間。この設定を使用して、 Alarm Records ページで再生されるアラームビデオの長さをカスタマイズできます。
	サービス	自動時間同期の有効化	これを有効にすると、ソフトウェアによって、同期間隔ごとに、パソコンのシステム時間とカメラの時間が同期されます。

パラメータ		説明
	Eメール	<p>アラーム起動型メール (アラーム起動型アクションの設定を参照のこと) で必要となります。アラームが発生すると、指定のメールアドレスにメールが送信されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 送信者：メールの送信に使用されるメールアドレス。 受信者：メールの受信に使用されるメールアドレス。 <p>ヒント：受信者としてメール送信者のメールアドレスを使用し、Send Test Email をクリックしてテストを行ないます。</p>

16 ユーザ管理

コントロールパネルで **User Management** をクリックすると、ユーザーを追加、編集または削除できます。

デフォルトのユーザー名/パスワード (**admin/123456**) を使用してログインします。「admin」はスーパー管理者なので編集や削除はできません。

1. ユーザー追加するには **Add** をクリックします。
 - 管理者：Admin のみが管理者を追加できます。デフォルトでは、管理者は全権限を有しています。
 - Operator：Admin またはユーザ管理権限を有する管理者は、操作者を追加できます。デフォルトでは、操作者には何の権限もありません。
2. 権限を割り当てるには、左で権限を指定してください。一部の権限（ライブビューなど）では、右でデバイスを選択する必要があります。

たとえば、ユーザー「guard」は、右で選択された2台のカメラへのライブビュー、PTZ コントロール、スナップショット、ローカル録画、ローカル録画の再生、リモート録画の再生、リモート録画のダウンロード、双方向音声の権限のみを有しています。

3. ユーザー名（ユーザー名、パスワード、権限）を編集するには、リストでユーザーをダブルクリックします。ユーザーを削除するには、ユーザーを選択して **Delete** をクリックします。



ヒント！

権限のないメニューは薄いグレーで表示されるか、非表示になります。必要に応じて Admin にご連絡ください。

17 付録

EZDDNS によるエンコーディングデバイスの追加

1. お使いのルーターで UPnP を有効にします。ルーターのユーザーガイドを参照してください。
2. デバイスの Web インターフェイスにログインし、ポートマッピングを有効にします（**Network > Port Mapping**）。
 - マッピングモード：UPnP が推奨されます
 - マッピングタイプ：Auto が推奨されます。デバイスとルーターが外部ポートを決定します。
 - Manual を選択した場合、設定したポートが有効であることを確認してください。さもないと、ポートマッピングが有効になりません。
 - 外部 IP アドレスが表示されない場合：a. ルーターで UPnP が有効であることを確認してください。b. 一部のルーターでは、ポートマッピング用のデバイス数が制限されています。最大数に達すると、不要なポートマッピングが取り消されます。
3. 次のように、デバイスの Web インターフェイスで、DDNS を設定します（**Network > DDNS**）：
 - DDNS のタイプ：EZDDNS
 - サーバーアドレス：en.ezcloud.uniview.com
 - ポート：80
 - ドメイン名：覚えやすい名前を選択し（例：myNVR123）、使用可能かどうかテストしてください。
 - 設定が成功すると、デバイスがオンラインになり、サーバーアドレスが表示されます（例：en.ezcloud.uniview.com/myNVR123）。
4. ソフトウェアにエンコーディングデバイスを追加します。
 - 追加モード：EZDDNS
 - デバイス名：必要に応じて設定
 - ドメイン：ステップ 3 で取得したドメイン名（この場合、myNVR123）
 - デバイスのユーザー名とパスワードを入力します
5. Add をクリックします。

予備モニターの回復

お使いのパソコンが予備モニターに接続されている場合、予備モニターにタブをドラッグすると、それにタブ（Live View など）を表示できます。ソフトウェアが再起動しても、予備モニターにタブが表示されたままになります。

マルチウィンドウディスプレイ

タブをドラッグして新しいウィンドウを開きます。

例：

